


地域保健福祉推進協議会

令和4年度 第2回健康あだち21 専門部会報告資料

令和5年2月27日 (月)

<p>件 名</p>	<p>小中学校における「おいしい給食」および「小児生活習慣病予防」の取り組みについて</p>
<p>所管部課</p>	<p>学校運営部学務課</p>
<p>内 容</p>	<p>1 「おうちでもひと口目は野菜から」チャレンジシートの取り組み結果について</p> <p>家庭での野菜摂取啓発を目的とし、1日3食ひと口目に野菜を食べ、シートに色を塗ることに10日間チャレンジする取り組み。</p> <p>これまで保育園、幼稚園で実施していた取り組みを就学後も継続するため、令和3年度から希望する小学校の1年生を対象に試行実施したが、令和4年度は全小学校の1年生に加え、希望する小学校の5年生に拡充実施した。</p> <p style="text-align: center;">1年生用 5年生用 記念品 (鉛筆)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div> <p>※ 全68校の1年生4,883人及び、30校の5年生2,258人計7,141人が実施</p> <p>2 「給食メニューコンクール」の実施結果について</p> <p>子どもたちが、給食の献立作りのポイントを考慮しながらメニューを考えて料理をすることで、食の重要性や食べる意欲を高めることを目的に夏休み期間に作品募集を行った。(中学生は給食1食分、小学生は1品。)</p> <p>(1) テーマ『こんな給食あったらいいな。私たちが食べたいメニューはこれ!』(区制90周年特別企画)</p> <p>(2) 応募総数 7,221作品</p> <p style="padding-left: 20px;">(内訳) 小学生 4,082作品</p> <p style="padding-left: 40px;">中学生 3,139作品</p> <p>【参考】令和3年度応募総数: 7,214作品</p> <p style="padding-left: 20px;">(内訳) 小学生 4,222作品</p> <p style="padding-left: 40px;">中学生 2,992作品</p>

3 小松菜一斉給食の実施結果について

J A東京スマイルより無償提供いただいた小松菜を使用し、小・中学校で一斉に実施した。

令和4年度は「小松菜入りジャンボ揚げ餃子」をメインとした共通献立で給食を提供した。



また、J A東京スマイルよりご寄贈いただいた、小松菜を中心とした生産者が出演する動画を全校に配付し、給食時間などに放映した。

実施日 11月15日（火）、16日（水）、24日（木）

※各校いずれかの日で実施

4 貧血・小児生活習慣病予防健診について

(1) 対象者：中学2年生および前年度要医療者、要経過観察者、ヘモグロビンA1c検査結果が正常値以上の中学生

(2) 実施日：令和4年9月22日～11月16日に各学校で実施

(3) 検査内容：肥満度、血清脂質、血圧測定、ヘモグロビンA1c

(4) 健診結果

	要医療	経過観察	生活指導	管理不要	正常
男子	118	230	266	526	1099
女子	86	236	379	458	843
全体	204	466	645	984	1942

(5) 事後指導講演会・個別相談会（第七中学校にて）

令和4年12月17日（土）午後1時30分から4時30分

	講演会	医師相談	栄養相談
参加者	88	15	29

5 全小・中学校での歯みがきの実施について

令和4年度も、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、歯みがき実施について積極的な勧奨はしていない。給食後の歯みがきだけでなく、歯みがき指導や啓発を通して歯科保健の取り組みを継続するよう促していく。

地域保健福祉推進協議会

令和4年度 第2回健康あだち21 専門部会報告資料

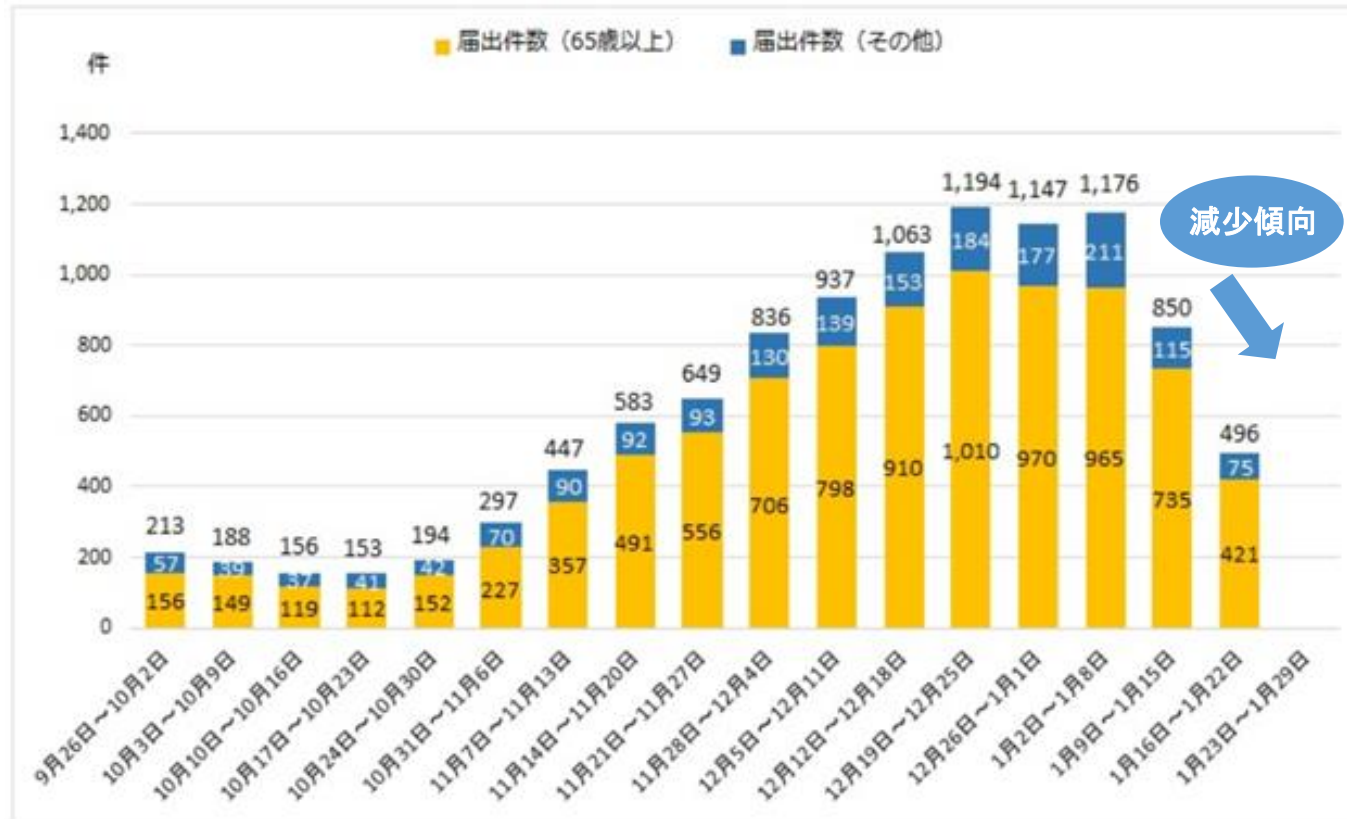
令和5年2月27日（月）

件名	足立区における新型コロナウイルス感染症発生状況について																												
所管部課	衛生部足立保健所感染症対策課																												
内容	<p>足立区における新型コロナウイルス感染症発生状況について、報告する。</p> <p>1 新型コロナウイルス感染症発生状況 東京都全体において、令和4年12月以降の感染拡大により、一時7日間平均が1万5千人程度となったものの、令和5年1月23日現在、直近7日間平均が7千人程度まで減少している。 区内届出対象者数推移（週別）については別添資料1のとおり。</p> <p>2 区内クラスター発生状況（令和5年1月23日 現在） 令和4年1月以降、区内で発生したクラスターの総施設数は、878施設である。</p> <p>3 足立区発熱電話相談センター及び足立区PCR予約専用ダイヤル等の電話相談実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1月</td><td>10,460件</td></tr> <tr><td>2月</td><td>13,642件</td></tr> <tr><td>3月</td><td>9,826件</td></tr> <tr><td>4月</td><td>5,321件</td></tr> <tr><td>5月</td><td>3,540件</td></tr> <tr><td>6月</td><td>2,466件</td></tr> <tr><td>7月</td><td>10,789件</td></tr> <tr><td>8月</td><td>14,066件</td></tr> <tr><td>9月</td><td>7,359件</td></tr> <tr><td>10月</td><td>2,473件</td></tr> <tr><td>11月</td><td>3,355件</td></tr> <tr><td>12月</td><td>4,827件</td></tr> <tr><td>令和5年1月</td><td>2,601件 (1月23日現在)</td></tr> </tbody> </table>	月	件数	1月	10,460件	2月	13,642件	3月	9,826件	4月	5,321件	5月	3,540件	6月	2,466件	7月	10,789件	8月	14,066件	9月	7,359件	10月	2,473件	11月	3,355件	12月	4,827件	令和5年1月	2,601件 (1月23日現在)
月	件数																												
1月	10,460件																												
2月	13,642件																												
3月	9,826件																												
4月	5,321件																												
5月	3,540件																												
6月	2,466件																												
7月	10,789件																												
8月	14,066件																												
9月	7,359件																												
10月	2,473件																												
11月	3,355件																												
12月	4,827件																												
令和5年1月	2,601件 (1月23日現在)																												

区内での新型コロナウイルス新規陽性者の発生状況（令和5年1月23日時点）

1 発生届を受理した陽性者数（週次グラフ）

※データの更新は毎週月曜



※ 令和4年9月26日から発生届出対象が下記4類型に限定化されたことに伴い、区の公表値も発生届を受理した陽性者数（区内に住所を有する方）のみとなった（区内で発生した陽性者の全数ではない）。

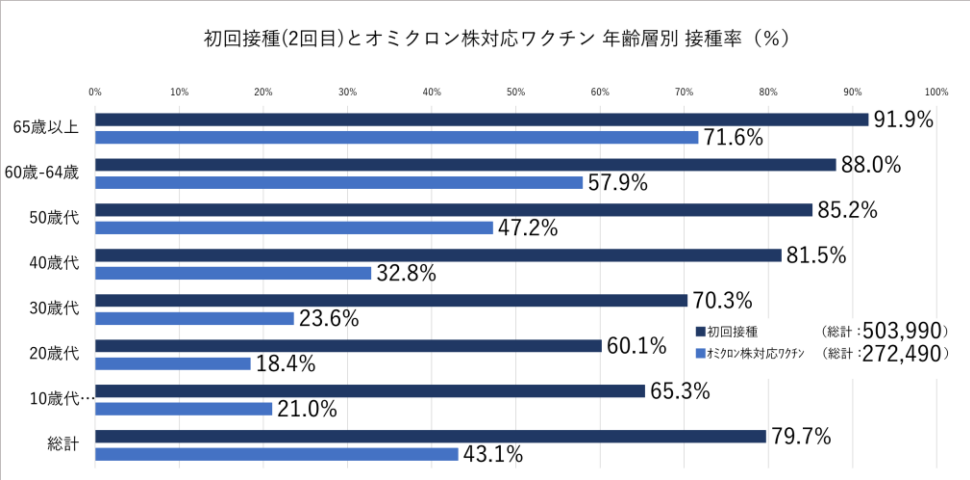
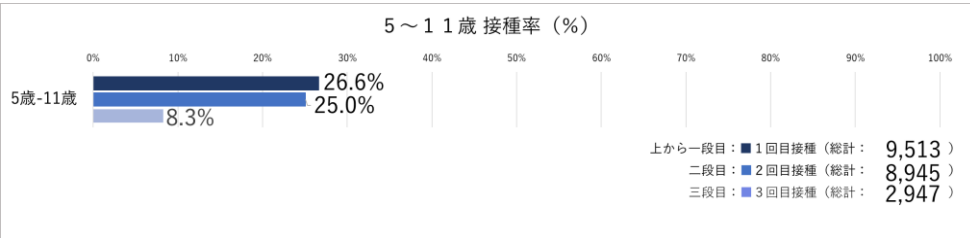
（届出対象者）

- 1 65歳以上の方（診察時点で65歳以上の方が対象）
- 2 入院を要する方
- 3 重症化リスクがあり、かつ新型コロナ治療薬や酸素投与が必要であると医師が判断した方
- 4 妊娠している方

地域保健福祉推進協議会

令和4年度 第2回健康あだち21 専門部会報告資料

令和5年2月27日（月）

件名	新型コロナウイルスワクチン接種事業の実績及び進捗状況について																																							
所管部課	新型コロナウイルスワクチン接種担当部 新型コロナウイルスワクチン接種担当課																																							
内容	<p>1 接種状況について（令和5年2月21日現在）</p> <p>(1) 初回接種（2回目）とオミクロン株対応ワクチン</p> <p>初回接種(2回目)とオミクロン株対応ワクチン 年齢層別 接種率（%）</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>年齢層</th> <th>初回接種 (総計: 503,990)</th> <th>オミクロン株対応ワクチン (総計: 272,490)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>65歳以上</td> <td>91.9%</td> <td>71.6%</td> </tr> <tr> <td>60歳-64歳</td> <td>88.0%</td> <td>57.9%</td> </tr> <tr> <td>50歳代</td> <td>85.2%</td> <td>47.2%</td> </tr> <tr> <td>40歳代</td> <td>81.5%</td> <td>32.8%</td> </tr> <tr> <td>30歳代</td> <td>70.3%</td> <td>23.6%</td> </tr> <tr> <td>20歳代</td> <td>60.1%</td> <td>18.4%</td> </tr> <tr> <td>10歳代...</td> <td>65.3%</td> <td>21.0%</td> </tr> <tr> <td>総計</td> <td>79.7%</td> <td>43.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 5歳から11歳</p> <p>5～11歳 接種率（%）</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>接種回数</th> <th>接種率（%）</th> <th>総計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上から一段目：1回目接種</td> <td>26.6%</td> <td>9,513</td> </tr> <tr> <td>二段目：2回目接種</td> <td>25.0%</td> <td>8,945</td> </tr> <tr> <td>三段目：3回目接種</td> <td>8.3%</td> <td>2,947</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 6か月～4歳</p> <p>1回目 3.7% 2回目 3.0% 3回目 0.8%</p> <p>2 新型コロナウイルスワクチン接種事業の今後について</p> <p>令和5年4月以降の接種について具体的な説明はなされていないが、対象者や回数、接種間隔などは引き続き、国の予防接種・ワクチン分科会において検討される。</p> <p>なお、必要な接種については、引き続き、自己負担なく受けられるよう、国の新型コロナウイルス感染症対策本部より方針が示されている。</p>	年齢層	初回接種 (総計: 503,990)	オミクロン株対応ワクチン (総計: 272,490)	65歳以上	91.9%	71.6%	60歳-64歳	88.0%	57.9%	50歳代	85.2%	47.2%	40歳代	81.5%	32.8%	30歳代	70.3%	23.6%	20歳代	60.1%	18.4%	10歳代...	65.3%	21.0%	総計	79.7%	43.1%	接種回数	接種率（%）	総計	上から一段目：1回目接種	26.6%	9,513	二段目：2回目接種	25.0%	8,945	三段目：3回目接種	8.3%	2,947
年齢層	初回接種 (総計: 503,990)	オミクロン株対応ワクチン (総計: 272,490)																																						
65歳以上	91.9%	71.6%																																						
60歳-64歳	88.0%	57.9%																																						
50歳代	85.2%	47.2%																																						
40歳代	81.5%	32.8%																																						
30歳代	70.3%	23.6%																																						
20歳代	60.1%	18.4%																																						
10歳代...	65.3%	21.0%																																						
総計	79.7%	43.1%																																						
接種回数	接種率（%）	総計																																						
上から一段目：1回目接種	26.6%	9,513																																						
二段目：2回目接種	25.0%	8,945																																						
三段目：3回目接種	8.3%	2,947																																						

地域保健福祉推進協議会

令和4年度 第2回健康あだち21 専門部会報告資料

令和5年2月27日（月）

件名	動物愛護相談窓口、および地域猫活動実績報告について
所管部課	足立保健所生活衛生課
内容	<p>飼い主のいない猫(野良猫)を増やさず、人と猫が共生する地域活動を推進するために以下の4つに取り組んだ。 令和4年度12月末現在の状況を報告する。</p> <p>1 ペットを遺棄させないための相談窓口の開設</p> <p>(1) 相談支援窓口支援実績件数（NPO法人委託事業分） 件数 62件</p> <p>ア 飼育相談 3件 * 飼い主本人、親族からの飼育に関する相談</p> <p>イ 譲渡相談 1件 * 飼い主が高齢、病気等の理由により、飼い続けることが困難となったペットを譲渡したいという相談、一時保護までに至らず</p> <p>ウ 飼い主のいる猫の一時保護 13件（うち2件譲渡） * 飼い主が高齢、病気等の理由により、飼い続けることが困難となったペットの譲渡先を探す間の一時保護</p> <p>エ 飼い主のいない猫の一時保護 45件（うち9件譲渡） * 野良猫の子猫を保護した場合、譲渡先を探す間の一時保護</p> <p>(2) 相談支援窓口実績件数（区直営分）</p> <p>ア 譲渡相談 25件 * 相談者自身が譲渡先を探す</p> <p>(3) 課題と今後の方針</p> <p>ア 【課題】一時保護をできる人が足りない 【方針案】 ① 一時保護のできる法人と契約（委託事業）令和5年度 ② 一時保護ボランティアへの助成（補助金事業）令和6年度予定</p> <p>イ 【課題】コロナ禍での譲渡会の開催が困難だった 【方針案】 ① オンライン譲渡会（委託事業）令和5年度</p>

2 出産させないための不妊去勢手術への助成

(1) 不妊去勢手術助成数

ア 地域猫活動対象

221匹

イ 地域猫活動対象外

973匹（前年1,136匹）

3 人と野良猫が地域で共生できる環境をつくるための地域猫活動協力員制度の新設

(1) 苦情相談件数（飼主ではない人からの相談）

年 度	相談件数	実態調査件数
令和2年度	3,164	354
3年度	1,908	375
4年度	1,200	269

※ 令和4年度は12月末現在

※ 令和4年度は令和3年度とほぼ同数となる見込み。

(2) 地域猫活動協力員

49名

(3) 地域猫活動協力員更新研修

ア 実施時期

令和5年3月に実施予定

イ 研修内容

活動報告報告、地域猫活動動画視聴

ウ 研修方法

10名程度の集団講習

4 啓発事業

(1) 地域猫パネル展

ア アリオ西新井

7月26日～8月1日

イ 区内図書館（15か所）

9月1日～9月29日

(2) 川柳公募によるマナー啓発プレート

区民公募した犬猫マナー川柳をプレートにして配布する。

ア 作成予定日

3月27日

イ 周知と配布

広報3月25日号、ホームページ、SNSで周知

足立保健所、区民事務所などで区民に配布

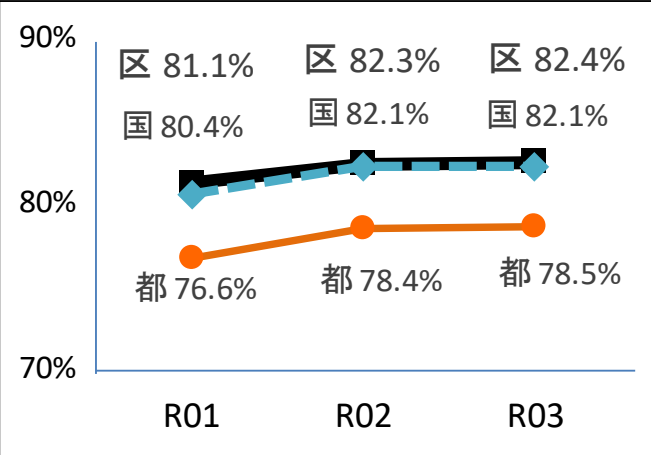
(3) SNSによる情報発信

ア 猫	6回発信 (今後6回発信予定)
イ 犬	12回発信 (今後7回発信予定)
ウ ハクビシン・アライグマ	9回発信
エ カラス	2回発信
オ 相談、マナー、防災等	14回発信 (今後6回発信予定)

地域保健福祉推進協議会

令和4年度 第2回健康あだち21専門部会報告資料

令和5年2月27日（月）

件 名	令和3年度ジェネリック医薬品使用率について																
所管部課	衛生部 データヘルス推進課																
内 容	<p>1 足立区ジェネリック医薬品使用率 <u>82.4%</u>（令和4年3月） 23区で第2位（第1位は江戸川区で83.4%） ※ 令和4年9月16日 厚生労働省発表「最近の調剤医療費（電算処理分）の動向」 ※ 自治体内に所在する薬局のデータを集計</p> <p>2 使用率の推移 国が掲げる目標値80%を超えており、全国（82.1%）及び東京都（78.5%）の使用率を上回っている。</p>  <table border="1" data-bbox="491 1193 1145 1646"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R01</th> <th>R02</th> <th>R03</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>区</td> <td>81.1%</td> <td>82.3%</td> <td>82.4%</td> </tr> <tr> <td>国</td> <td>80.4%</td> <td>82.1%</td> <td>82.1%</td> </tr> <tr> <td>都</td> <td>76.6%</td> <td>78.4%</td> <td>78.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 保険別の使用率（令和4年3月） (1) 国民健康保険 78.6%（78.3%） (2) 後期高齢者医療制度 78.1%（78.0%） (3) 生活保護医療扶助 81.5%（88.3%） ※ 括弧内は令和3年3月の使用率 ※ 各制度が保有するレセプト情報を集計</p>	区分	R01	R02	R03	区	81.1%	82.3%	82.4%	国	80.4%	82.1%	82.1%	都	76.6%	78.4%	78.5%
区分	R01	R02	R03														
区	81.1%	82.3%	82.4%														
国	80.4%	82.1%	82.1%														
都	76.6%	78.4%	78.5%														

4 削減効果額の推計（令和3年度）

※ 使用されたジェネリック医薬品がすべて先発医薬品だった場合の金額との差を推計して算出

(1) 国民健康保険

約12億7,557万円

- ・ 区（7割負担） 約8億9,290万円
- ・ 区民（3割負担） 約3億8,267万円

(2) 生活保護医療扶助

約9億4,286万円

5 ジェネリック医薬品普及啓発の取組み**(1) ジェネリック医薬品普及協議会の開催**

※ 令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から未開催

(2) 更なる使用率の向上に向けて、足立区薬剤師会と協議**(3) ジェネリック医薬品利用差額通知の送付****(4) ジェネリック医薬品希望シール・パンフレット等の配布****(5) 国保だより、あだち長寿医療だより、足立区ホームページ、区内薬局等での利用促進PR**

地域保健福祉推進協議会

令和4年度 第2回健康あだち21 専門部会報告資料

令和5年2月27日（月）

件名	特定健診等のデータ分析結果を活用した事業展開と庁内提供について		
所管部課	衛生部 データヘルス推進課		
内容	<p>令和4年3月25日付、日本コンピューター株式会社と協定を締結し、データ分析を行った。については、データ分析結果を健康づくり事業等へ活用するとともに、庁内へデータを提供していく仕組みを構築する。</p>		
	<p>1 分析内容</p> <p>(1) 特定健診の受診傾向とメタボリックシンドロームの要因等について</p> <p>(2) 後期高齢者医療健診、歯科健診結果を活用した区民の健康状態の把握について</p>		
	<p>2 分析結果</p> <p>データ分析結果と活用案について（別添資料2参照）</p> <p>表中5については（仮称）江北健康づくりセンター開設に合わせて令和6年度から実施し、表中5以外については令和5年度から実施を予定する。</p>		
	分析対象	分析結果	活用案
1	特定健診、後期高齢者歯科健診	<ul style="list-style-type: none"> 「早食い」は肥満（BMI 25以上）に、「食品摂取多様性スコア（DVS）」はフレイルに大きく関連している。 	<ul style="list-style-type: none"> <u>特定健診、後期高齢者医療健診共通で使用していた健診結果通知票を健診の目的に合わせて変更し、最も自分の健康状態を振り返る機会である医師からの健診結果説明時を活用して生活指導や啓発を実施する。</u>
2	後期高齢者医療健診	<ul style="list-style-type: none"> フレイルに陥るハイリスク者へ介入していくため、後期高齢者医療健診結果から「ハイリスク者予測モデル」を作成した。 	<ul style="list-style-type: none"> <u>地域包括ケア推進課、地域包括支援センターへハイリスク者リストを提供することで、効果的な介入を実施し、健診を受診することで介入効果を検証できるPDCAサイクルの仕組みを構築する。</u>

	分析対象	分析結果	活用案
3	特定健診	<ul style="list-style-type: none"> 40歳になった時点で既に肥満傾向がある。 一度、メタボリックシンドローム予備群以上となると、その後も同様の状態が継続する傾向がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 40歳前の健康づくり健診の受付に、定員管理ができる<u>オンライン予約システムを委託事業者側で導入し、受診者数を増加させる。</u> 国保加入者に重点的に勧奨することで、特定健診受診へつないでいく。
4	特定健診	<ul style="list-style-type: none"> 40代前半の特定健診受診率は特に低くなっている。 会社で健診を受診していた集団（社保離脱により国保加入）は「受診習慣」があることから健診受診率が高いと考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> <u>40代前半を重点ターゲットと設定した勧奨資材による受診勧奨を実施する。</u>
5	特定健診	<ul style="list-style-type: none"> 男性では、60歳まではBMIが高値、60歳以降ではメタボリックシンドローム該当割合が増加する。 社保離脱による国保加入者は「受診習慣」があることから、健康意識が高い層～低い層まで満遍なく受診するため、メタボリックシンドローム該当割合が高くなっている可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 60歳以降は退職により社会保険から国保への加入者がピークとなり、生活が大きく変化する年代のため、<u>(仮称)江北健康づくりセンターで開始する人生100年時代を見据えた健康づくり事業へ勧誘していく。</u>

3 健康データの庁内提供の仕組みの構築

(1) 事業イメージ

健康づくりや介護予防、生活保護受給者への支援など各所管の事業に合わせたレポートや分析結果を提供し、正確な現状把握と課題認識の共有を図っていく（別添資料3参照）。

(2) 目的

- ア 庁内一体となった事業展開を促すとともに、EBPMを推進する。
- イ 保健センター等の管轄ごとに健康データレポート（別添資料4）を作成し、庁内へ提供していくことで、地域特性に合わせた事業展開へつなげていく。
- ウ 所属内や関係部署間で現状や地域ごとの課題を共通認識とし、PDCAサイクルの中で改善度等を定量的に測定する。

(3) 実施時期

令和4年度中に関係部署等へ健康データレポートの提供を開始する。その後、関係部署等からフィードバックを受け、令和5年度からは、さらにアップデートしたものを配布していく。



メタボ・フレイル 健診結果説明を活用したメタボ・フレイル予防

分析結果
・「早食い」は肥満 (BMI 25 以上) に、「食品摂取多様性スコア (DVS)」はフレイルに大きく関連しており、誰もが改善に取り組めるポイント

活用案
・結果通知票を健診目的に合わせて変更し、最も自分の健康状態を振り返る機会である結果説明時に指導・啓発する

変更イメージ
これまで年齢に関わらず、同じ結果通知票を使用していたが、健診の目的に合わせて変更

共通の結果票
若い年代用の結果票
高齢者用の結果票

事業フロー
①受診券 → ②健診受診 → ③結果説明を活用した指導・啓発 → ④行動変容 → ⑤データから行動変容を検証

フレイル ハイリスク者予測モデルとフィールドワークでの活用

分析結果
・フレイルに陥るハイリスク者へ介入していくため、後期高齢者医療健診結果から「ハイリスク者予測モデル」を作成

活用案
・地域包括ケア推進課、地域包括支援センターへハイリスク者リストを提供することで、効果的に介入し、健診を受診することで介入効果を検証できる P D C A サイクルの仕組みを構築する。

予測モデル
後期高齢者医療健診の受診結果から、1年後にハイリスク者に該当する確率を予測するモデルを作成

ハイリスク者設定 (2項目以上該当)
ウォーキング等を週に1回以上していない
以前に比べて歩行速度が低下
6か月で2~3kg以上体重低下
過去1年間に転倒した

※ハイリスク者は、区が保有するデータに最も近い「簡易フレイルインデックス (国立長寿健康医療センター)」を参考に設定

事業フロー
①ハイリスク者リストを提供
②情報連携
③フィールドワークで活用
④健診を受診すると
⑤結果データが届く
⑥介入効果の検証
⑦介入結果をフィードバック

関係機関: データヘルス推進課, 地域包括ケア推進課, 医療機関, ハイリスク者, 地域包括支援センター

メタボ 40歳前の健康づくり健診 オンライン予約システム導入

分析結果
・40歳になった時点で、すでに肥満傾向が高く、40歳以前の健康意識向上や肥満予防が重要

活用案
・定員管理ができるオンライン予約システムを委託事業者側で導入し、受診者数UP
・国保加入者に重点勧奨して、特定健診へつなぐ

BMI25以上割合 (40歳代)

葛飾区	33.8
足立区	33.7
板橋区	31.9
「特別区」	27
中央区	20.8
港区	20
渋谷区	18.7

※R3特定健診結果 (sucoyaca) 上下3位・特別区平均より6ポイント以上高い

参考> 40前健診申込率

年度	申込率
R2年度	72.91%
R3年度	58.28%
R4年9月以降	98.05%

※9月以降、空き状況が発生した場合にオンライン申請を実施した結果、一定の効果が見られたため、令和5年度は拡充して利便性を向上させる。

メタボ 40代前半への特定健診勧奨強化

分析結果
・40代前半の受診率は特に低い
・会社で健診を受診していた層 (社保離脱) は、「受診習慣」があるため受診率が高いと予想

活用案
・40代前半を重点ターゲットと設定した勧奨資材による受診勧奨を実施

40~45歳は勧奨資材を変更

年代別特定健診受診率 (令和3年度)

40-44歳	19.56%
45-49歳	20.00%
50-54歳	25.00%
55-59歳	30.00%
60-64歳	35.00%
65-69歳	40.00%
70-74歳	51.83%

32.27pt 差

資格取得事由別受診率 (抜粋)

事由	令和元年度	令和2年度	令和3年度
社保離脱	45.00%	40.00%	35.00%
40歳時点で国保加入	45.00%	40.00%	35.00%
生保離脱	45.00%	40.00%	35.00%

社保離脱より10pt以上低い

健康づくり 60歳からの健康づくり支援

分析結果
・男性の場合、60歳まではBMI高値、60歳以降でメタボ該当割合が増加している。
・社保離脱者は「受診習慣」があり、満遍なく受診していることからメタボ割合が高い可能性

活用案
・60歳以降は退職により社保から国保への加入者がピークとなり、生活が大きく変化する年代のため、(仮称)江北健康づくりセンターで開始する人生100年時代を見据えた健康づくり事業へ勧誘していく

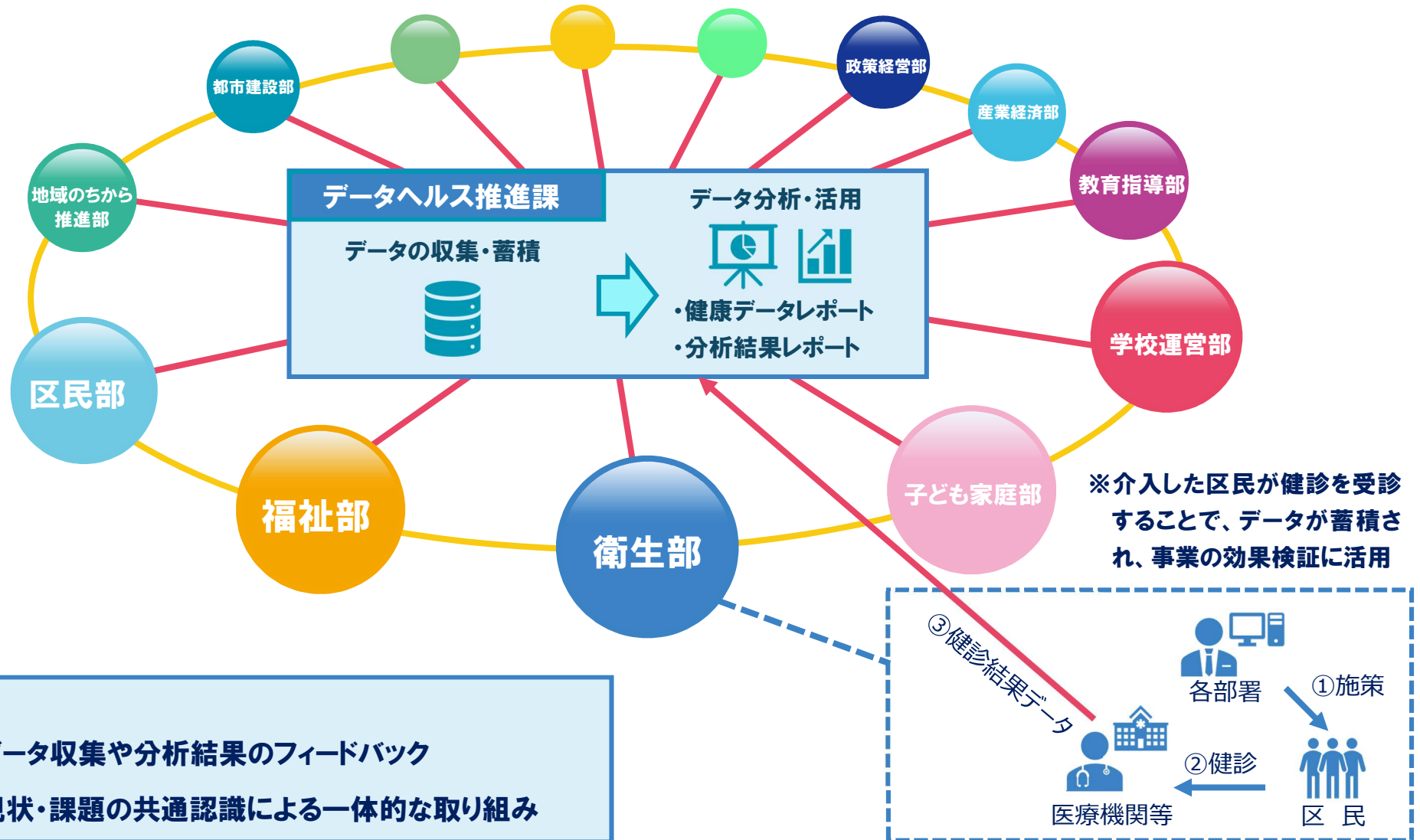
メタボ予備群以上該当割合 (令和3年度特定健診結果)

年齢	性別	該当割合
40歳時点で国保加入	男	46.75%
	女	56.84%
社保離脱	男	52.10%
	女	59.87%
生保離脱	男	70.21%
	女	65.41%

健康データの庁内提供イメージ

【目的・効果】

- ・集約した健康データを連携することで、所属内や関係部署間で現状と課題を共通認識とし、一体的な施策展開へつなげていく。
- ・現場へデータをフィードバックすることで、現状・介入結果の可視化やモチベーション向上につなげていく。



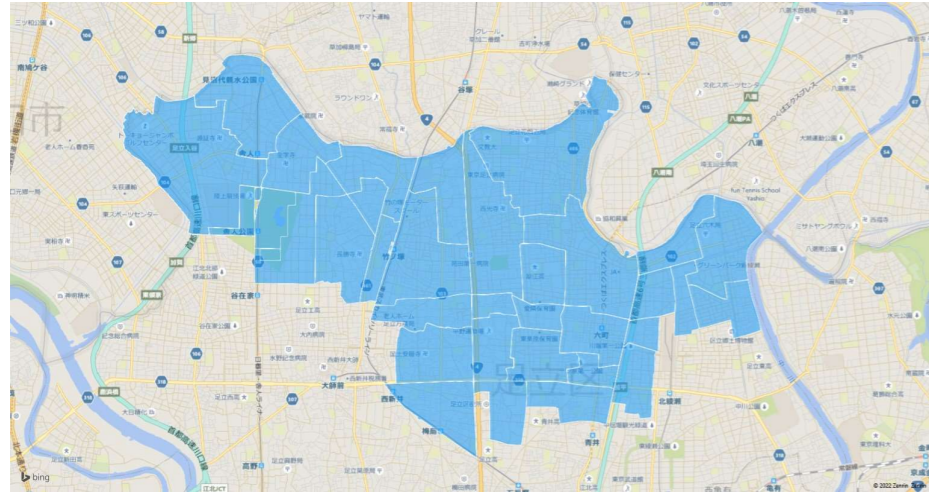
凡例

- … データ収集や分析結果のフィードバック
- … 現状・課題の共通認識による一体的な取り組み

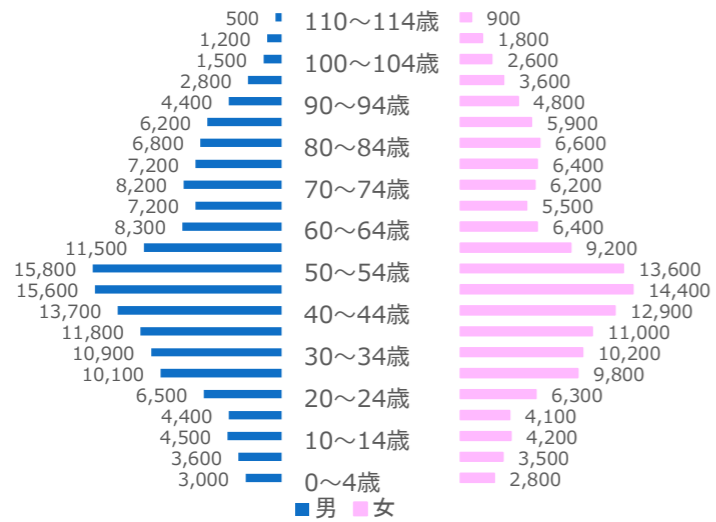
〇〇〇〇地区 Fundamentals

令和3年度

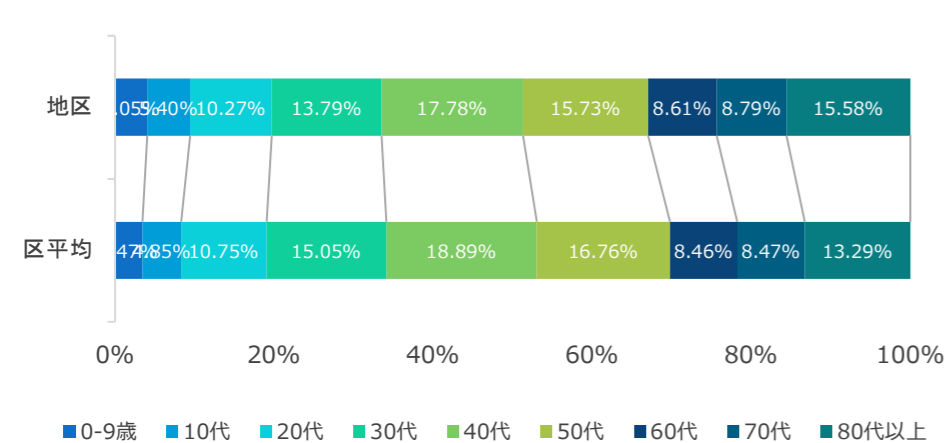
地域配置図



人口構成



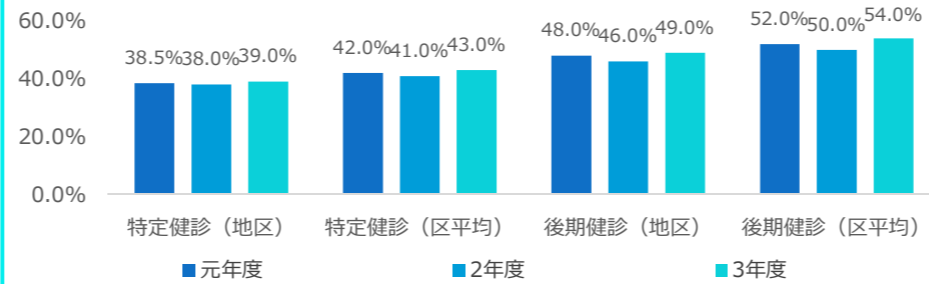
年齢別構成割合



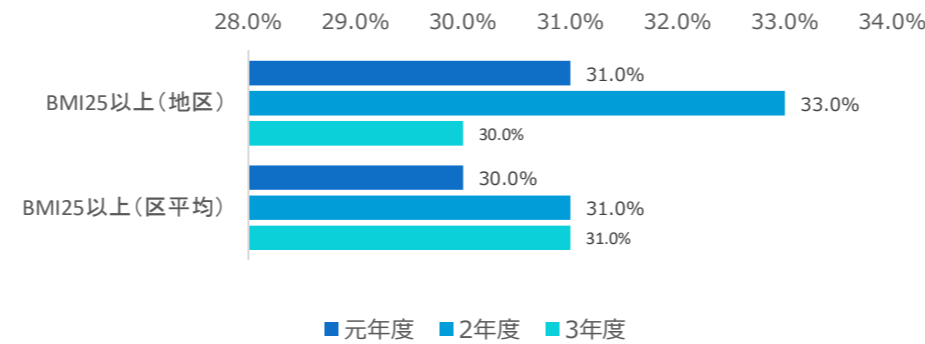
〇〇〇〇地区 Health Data

令和3年度

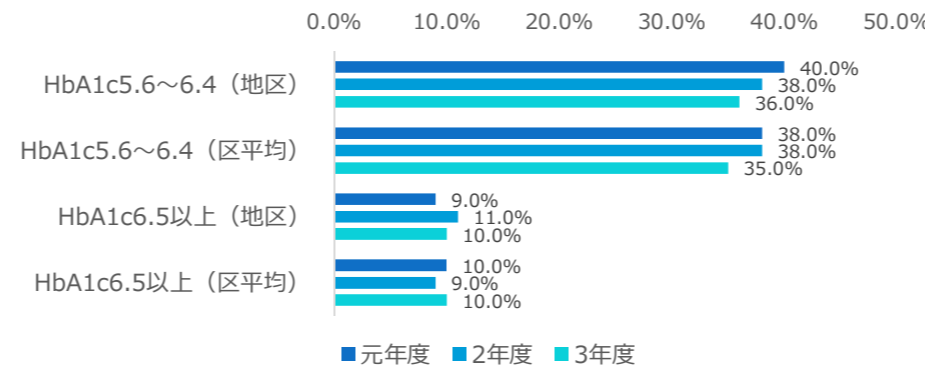
健診受診率



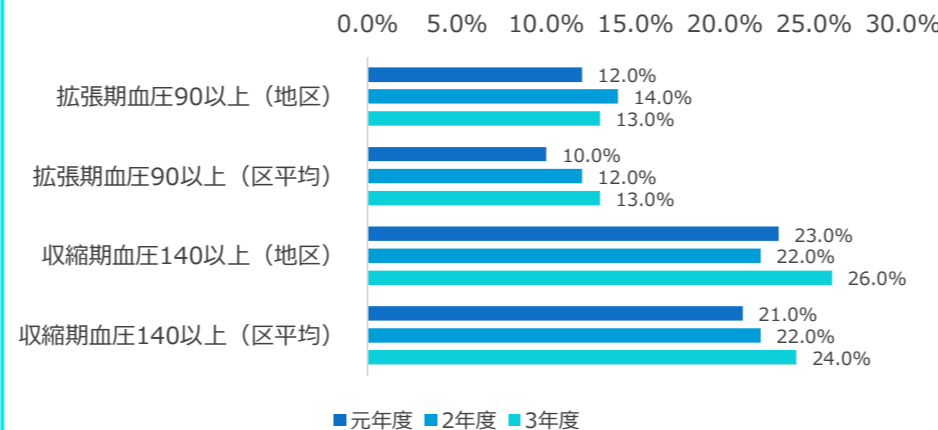
BMI (特定健診)



HbA1c (特定健診)



血圧 (特定健診)



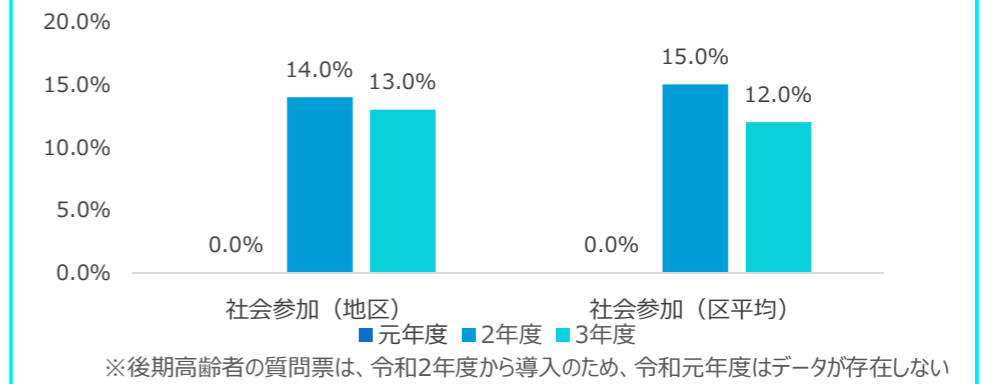
健康データレポート(イメージ)

Health Data

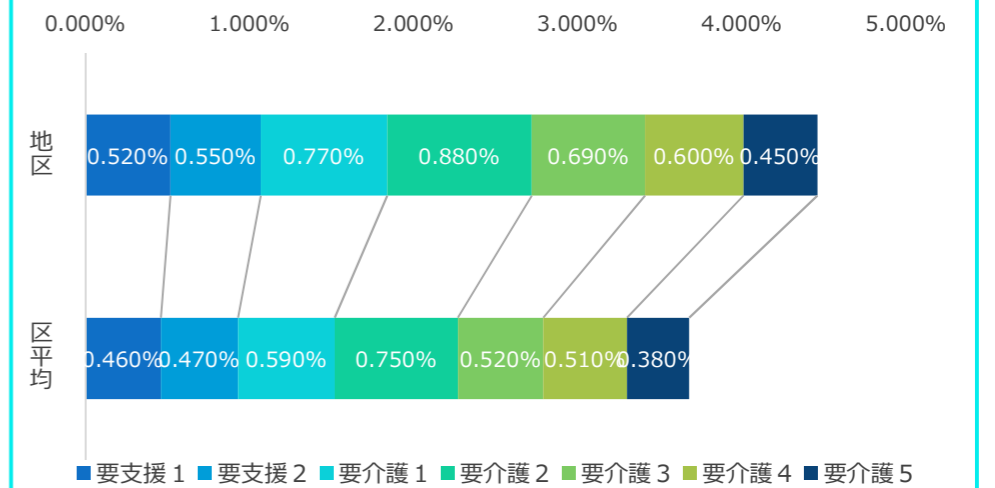
別添資料 4

令和3年度

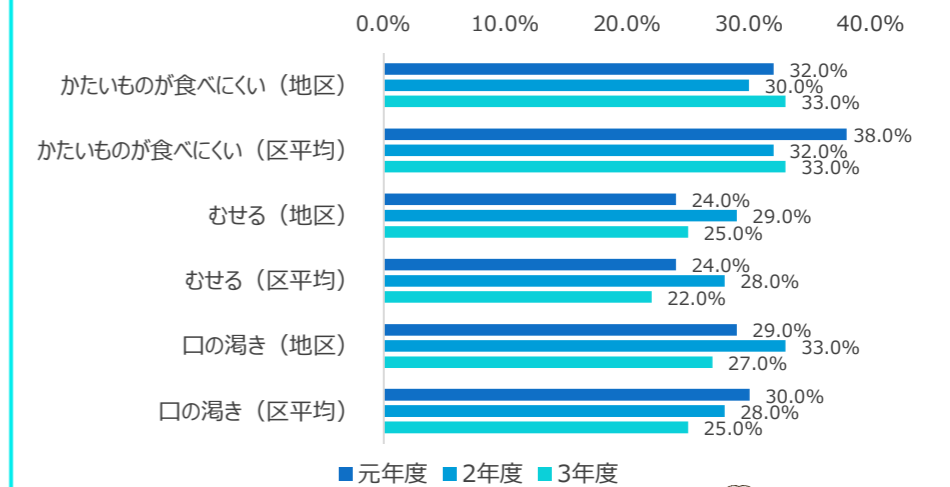
社会参加 (週1回以上外出していない)



介護認定



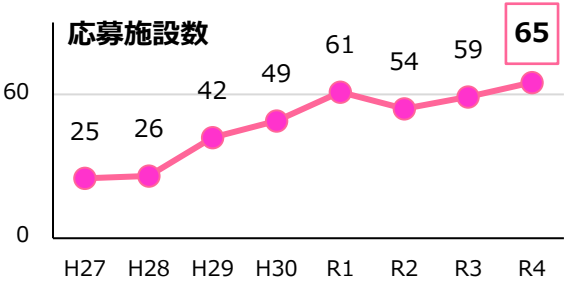

オーラルフレイル



地域保健福祉推進協議会

令和4年度 第2回健康あだち21専門部会報告資料

令和5年2月27日(月)

件名	令和4年度「あだちっ子・いい歯推進園表彰事業」の実施結果について																														
所管部課	衛生部 データヘルス推進課																														
内容	<p>令和4年度「あだちっ子・いい歯推進園表彰事業」について、報告する。</p> <p>「糖尿病対策アクションプラン・歯科口腔保健対策編」の取組みの一環として、「あだちっ子歯科健診(4～6歳)」や「6歳白歯の育成」「歯みがきや規則正しい食習慣づくり」等に積極的に取り組む幼稚園・保育園(所)を募集・表彰するとともに、優れた取組みの紹介を行った(平成27年度開始)。</p> <p>1 応募園数 65園(3年度59園)</p> <p>【内訳】私立幼稚園(7)、区立保育園・認定こども園(28)、公設民営園(5)、私立保育園(24)、認証保育所(1)</p>  <table border="1"> <caption>応募施設数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>施設数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>25</td></tr> <tr><td>H28</td><td>26</td></tr> <tr><td>H29</td><td>42</td></tr> <tr><td>H30</td><td>49</td></tr> <tr><td>R1</td><td>61</td></tr> <tr><td>R2</td><td>54</td></tr> <tr><td>R3</td><td>59</td></tr> <tr><td>R4</td><td>65</td></tr> </tbody> </table>  <p>令和4年度ステッカー</p> <p>2 審査結果 ※別添資料5 リーフレット参照</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>賞</th> <th>園名</th> <th>主な取り組み内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>区長賞</td> <td>聖母のさゆり保育園</td> <td>令和3年度は年少児・年中児・年長児ともにむし歯患率0%になった。4、5歳児を対象に、塗り絵や工作で自分の口の中に関心を持たせている。</td> </tr> <tr> <td>教育長賞</td> <td>西新井幼稚園</td> <td>治療後も含めたむし歯ゼロの勲章(手作りバッジ)を全員に配布。歯の本数や歯みがき、むし歯菌等を内容に盛り込んだ「いい歯遊戯会」を実施。</td> </tr> <tr> <td>足立区歯科医師会長賞</td> <td>恵・YOU保育園</td> <td>コロナ禍においても、間隔を確保した上で給食後の歯みがき及び職員による仕上げみがきを実施。早寝・早起き・朝ごはんに取り組み、生活リズムの定着を図っている。</td> </tr> </tbody> </table>	年度	施設数	H27	25	H28	26	H29	42	H30	49	R1	61	R2	54	R3	59	R4	65	賞	園名	主な取り組み内容	区長賞	聖母のさゆり保育園	令和3年度は年少児・年中児・年長児ともにむし歯患率0%になった。4、5歳児を対象に、塗り絵や工作で自分の口の中に関心を持たせている。	教育長賞	西新井幼稚園	治療後も含めたむし歯ゼロの勲章(手作りバッジ)を全員に配布。歯の本数や歯みがき、むし歯菌等を内容に盛り込んだ「いい歯遊戯会」を実施。	足立区歯科医師会長賞	恵・YOU保育園	コロナ禍においても、間隔を確保した上で給食後の歯みがき及び職員による仕上げみがきを実施。早寝・早起き・朝ごはんに取り組み、生活リズムの定着を図っている。
年度	施設数																														
H27	25																														
H28	26																														
H29	42																														
H30	49																														
R1	61																														
R2	54																														
R3	59																														
R4	65																														
賞	園名	主な取り組み内容																													
区長賞	聖母のさゆり保育園	令和3年度は年少児・年中児・年長児ともにむし歯患率0%になった。4、5歳児を対象に、塗り絵や工作で自分の口の中に関心を持たせている。																													
教育長賞	西新井幼稚園	治療後も含めたむし歯ゼロの勲章(手作りバッジ)を全員に配布。歯の本数や歯みがき、むし歯菌等を内容に盛り込んだ「いい歯遊戯会」を実施。																													
足立区歯科医師会長賞	恵・YOU保育園	コロナ禍においても、間隔を確保した上で給食後の歯みがき及び職員による仕上げみがきを実施。早寝・早起き・朝ごはんに取り組み、生活リズムの定着を図っている。																													

【優秀賞】 15園

【優秀賞(幼稚園)】 3園

【奨励賞】 44園

3 表彰式

新型コロナウイルス感染拡大防止により、表彰式は執り行わず、賞状・記念品・ステッカー・園児用シール等を郵送にて贈呈した。

4 表彰園の紹介

区公式ホームページ、リーフレットの配布（全保育施設・幼稚園・こども園・小学校、歯科医師会等）、パネル展示等で紹介

5 実施主体

足立区・足立区教育委員会・公益社団法人東京都足立区歯科医師会共催

令和4年度 あだちっ子・いい歯 推進園表彰

～受賞園の取り組みを紹介します～



「あだちっ子歯科健診後の治療勧奨」や「規則正しい食習慣・歯みがき習慣づくり」など、子どもの歯と口の健康づくりに積極的に取り組む幼稚園・こども園・保育施設を募集・表彰しています。

受賞 65園！ おめでとうございます

【区長賞】 私立 聖母のさゆり保育園
 【教育長賞】 私立 西新井幼稚園
 【足立区歯科医師会長賞】 私立 恵・YOU保育園

全ての受賞園に「いい歯推進園ステッカー」を進呈

【優秀賞】

区立 あやせ保育園	区立 大谷田第一保育園
区立 千住あずま保育園	区立 花畑桑袋保育園
区立 東綾瀬保育園	区立 おおやたこども園
区立(公設民営) 水神橋保育園	私立 くりはら愛育保育園
私立 栗原つくし保育園	私立 たんぼぼ保育所北千住園
私立 たんぼぼ保育所第二六町園	私立 西新井教会保育園
私立 西新井聖華保育園	私立 にじいろ保育園江北
私立 レイモンド花畑保育園	

マスクの中は
いい歯ピカピカ！



優秀賞までの受賞園に、「園児用シール」プレゼント♪



【優秀賞（幼稚園）】

私立 城北幼稚園 私立 竹塚幼稚園 私立 舎人幼稚園

【奨励賞】

私立 栗島幼稚園	私立 中条幼稚園	私立 美松学園幼稚園	区立 伊興保育園
区立 いりや第一保育園	区立 いりや第二保育園	区立 梅田保育園	区立 加賀保育園
区立 上沼田保育園	区立 北保木間保育園	区立 新田わかば保育園	区立 第三上沼田保育園
区立 中央本町保育園	区立 中島根保育園	区立 西保木間保育園	区立 東花畑保育園
区立 平野保育園	区立 保木間保育園	区立 緑町保育園	区立 南保木間保育園
区立 宮城保育園	区立 六木保育園	区立 本木東保育園	区立 鹿浜こども園
区立 元宿こども園	区立(公設民営) 伊興大境保育園	区立(公設民営) 五反野保育園	区立(公設民営) 竹の塚保育園
区立(公設民営) 東保木間保育園	私立 アスク千住保育園	私立 アスクとねり保育園	私立 アスク舎人駅前保育園
私立 足立このみ保育園	私立 エーワン梅島保育園	私立 北千住もみじの森保育園	私立 キッズガーデン足立青井
私立 キッズガーデン足立扇	私立 高和保育園	私立 ステラ千住ふたば保育園	私立 聖華こうどう保育園
私立 西綾瀬りりおっこ保育園	私立 三星保育園	私立 六町あづま保育園	認証保育所 コンビプラザ綾瀬保育園

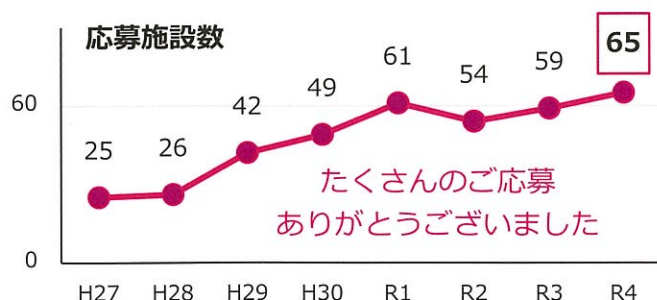
(園名は、施設種別・あいうえお順)

<令和4年度 あだちっ子・いい歯推進園表彰事業>

◇応募時期◇ 令和4年6月13日～7月29日

◇応募園数◇ 65園

私立幼稚園(7)、区立保育園・こども園(28)、
公設民営園(5)、私立保育園(24)、認証保育所(1)



足立区歯科医師会長からのメッセージ

コロナ禍において、新しい生活様式として身体距離の確保を求められるにもかかわらず、多くの園で積極的に「規則正しい生活習慣」や「歯みがき習慣づくり」に取り組んでいただき、大変心強く感じました。

園の皆様には、並々ならぬご苦労があったことと思います。私の心情としては、応募のあった全ての園に「足立区歯科医師会長賞」を差し上げたいところです。

今年もありがとうございました！！



東京都足立区歯科医師会
佐藤 和義 会長

受賞園の取り組みを紹介します



区长賞 私立 聖母のさゆり保育園

「工作・表現活動」「食育活動」「毎日の歯みがき」など、日常に歯の健康づくりを組み入れ、むし歯ゼロを達成！

★ 「ぼく・わたしの【は】○○ほんあるよ！」

5歳児が鏡を見て自分の歯の本数を数え、口の中に見立てた色画用紙に貼っていきます。「抜けている歯」や「6歳臼歯が生えていること」「お友達との違い」に気づくなど、表現活動を楽しみました。



つくって
6歳臼歯は、大きな丸型に切った紙を貼って表現します。



あそぶ
歯が抜けた所や、奥歯のみがき方を遊びながら学びます。

★ 食後とおやつ後の歯みがき指導を実施

3～5歳児には、毎日、給食後とおやつ後の歯みがき指導を実施しています。さらに5歳児は、模型で歯ブラシの角度を変えて1本ずつみがく練習を行います。

「健康な歯で元気な体をつくろう！」を4・5歳児のテーマに、毎食後の歯みがきでむし歯をつくらず、何でもよく噛んで食べることを子ども達に伝えています。歯みがき習慣は家庭の協力も大事です。保護者の方と一緒に子どもの健康な歯を守っていきたいと思います。
(保育主任 横山先生)



教育長賞 私立 西新井幼稚園

園での歯みがきが難しい状況だからこそ、家庭の協力を得て、園独自の行事を企画・挑戦。意識が高まりました！

★ 教職員が構成し、子どもたちと振付を考え、異年齢で舞台上立った「いい歯遊戯会」



保護者に発表会をみてもらうことで、「いい歯」の啓発につながりました。

【お遊戯会のストーリー】

20本のかわいい歯たちが、「歯みがきイヤだもん」の歌♪。むし歯菌がやってきた！「みがかないと増えちゃうぞ〜」。歯ブラシやデンタルフロス(ロープで表現)が登場！むし歯菌が逃げ出し、ピカピカになりました。

★ 家庭と連携！「20日間歯みがきカレンダー」の取り組み実施



年長児は、黒く細い画用紙をずらすと白い歯になる「仕掛けカレンダー」を製作。

健康な歯を保つために、口の中には、むし歯菌や歯を丈夫にする菌がいることを知ることから始め、劇で表現しました。役になりきり、楽しく口の中を学びました。保護者の方に参観していただき、健康な歯への意識を高める取り組みとなりました。
(教諭 井関先生)



歯科医師会長賞 私立 恵・YOU保育園

コロナ禍でもできることをコツコツと！全職員の協力体制で、取り組みを進めています。

★ 園長&看護師がきっかけづくり。担任が「仕上げみがき」を継続しています！

無理なく歯みがきする方法を全職員で考え、「年少児からの歯みがき」が定着しました。

園長先生と看護師さんの声かけで歯みがきスタート！



自分みがき
鏡の前に間隔を空けてすわり、自分でみがきます。

仕上げみがき
担任が仕上げみがき&ピカピカチェックします。

★ 「今日は何の日？」園長&看護師が記念日博士(由来マイスター)に変身して伝えます！

記念日の由来や関連する生活習慣を、手作り紙芝居やクイズで伝え、取り組みにつなぎます。

取り組み例
6月4～10日(歯と口の健康週間)
→「むし歯予防」
6月10日(時の記念日)
→「早寝・早起き・朝ごはん」



カレンダーを毎日楽しみにしながら、日々興味・関心を広げるきっかけづくりをしている「由来マイスター」。歯みがきについても、なぜ大切かを知り、考えて取り組めるように進めました。
(看護師 吉原先生)



優秀賞(幼稚園) 3園受賞！

歯みがき&仕上げみがき習慣づくり

私立 竹塚幼稚園

全園児が、給食後に歯みがきをしています。コロナ禍のため、「同じ方向を向いてみがく」「職員が歯ブラシを毎日消毒ケースに保管する」など、工夫しています。



年少・年中児に、歯の模型でわかりやすく、みがき方を伝えています。

「受診(治療)報告率」提出率 100%

私立 城北幼稚園

「未受診&未治療ゼロ」を目指し、園独自に作成した健診・治療を促すプリントの配付や、担任から電話かけを行いました。

私立 舎人幼稚園

お手紙や登園バスお迎え時の保護者への声かけに加え、全体・個人にメールでもお知らせし、100%を達成しました。

審査委員長からのメッセージ

本年もたくさんの園からご応募をいただき、本当にありがとうございます。資料を拝見しますと園ごとに様々な工夫があり、子どもたちの「歯の健康」の推進に取り組まれている様子がよくわかりました。幼いころの習慣は、その子の一生の宝物になります。健康で幸せな人生を送るための基礎づくりに、ぜひ今後も取り組んでいただけるようお願いいたします。

足立区教育委員会 教育長 大山 日出夫



給食後の歯みがき(コロナ禍の工夫)

仕切りや場所の工夫で歯みがきを実施

私立 西新井教会保育園

年少児～年中児は、4人テーブルをアクリル板で仕切って、年長児は、園庭に向かって外の水道で歯みがきしています。



“少人数で”重点的な指導&仕上げみがき

私立 くりはら愛育保育園

重点期間には、看護師が毎日2人ずつピックアップして、歯の模型を使って丁寧に指導した後、仕上げみがきをしています。



6月の歯みがき指導で、「歯みがきのお約束や方法」を学びます。

歯みがき&仕上げみがき習慣づくり

「生えはじめは背が低い」6ちゃんの特徴

私立 西新井聖華保育園

6ちゃんの特徴をとらえた大きな歯の模型を作りました。「歯ブラシを横から入れてみがくこと」を子どもたちに伝えています。



奥歯のミゾが深いのも、分かりやすいです。

大人気！玄関に大きな歯の模型を展示

私立 たんぽぽ保育所北千住園

子どもの背丈サイズにもなる模型をつくりました。歯みがき指導や、登園時に親子で歯の数や形を観察して楽しみました。



前歯と奥歯の形の違いもよく分かります。

歯みがきスキルアップ before・after

私立 レイモンド花畑保育園

歯みがき練習(10日間)の最初と最後に染め出しをして、成果を保護者にお知らせしました。親子で上達を喜ぶ姿がみられました。



10日後、みがき残しが減りました！

園と家庭をつなぐ歯みがきカレンダー

私立 栗原つくし保育園

手作り歯みがきカレンダーを年少～年長児で実施し、保護者から、「朝と寝る前に進んでみがくようになりました」など、家庭の様子がわかるコメントがたくさん寄せられました。



よく噛んで食べる習慣づくり

よく噛む体験「かむかむ教室」を開催

区立 あやせ保育園

子ども達と、あだちっ子せんべい※を作り、パンと食べ比べることで、よく噛むことの大切さを実感しました。



※あだちっ子せんべい：区オリジナルの噛み応えのあるおやつ

家庭と連携した歯科受診勧奨

園独自！歯科受診推奨月間を設定

区立 大谷田第一保育園

歯の健康とむし歯予防のため、歯科受診を勧めました。「明日、歯医者さんに行くの！」と、子どもの意識の高まりが感じられました。



「はいしゃさん こんちは」と名づけて周知し、約半数が受診しました。

地域保健福祉推進協議会

令和4年度 第2回健康あだち21 専門部会報告資料

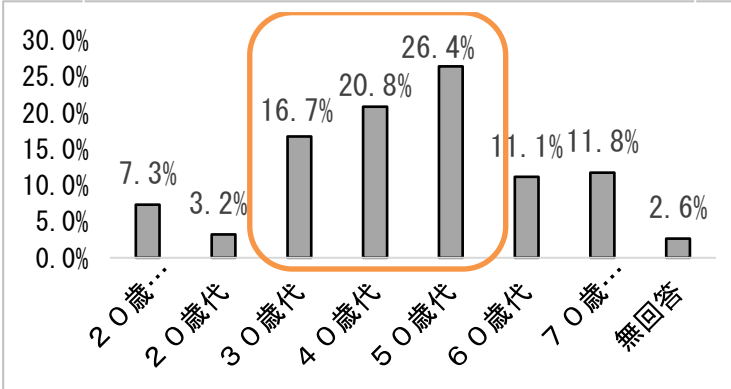
令和5年2月27日（月）

件 名	「健康あだち21 行動計画」の第二次評価及び第三次策定にかかる調査について										
所管部課	衛生部 ころろとからだの健康づくり課										
内 容	<p>「健康あだち21 行動計画」第二次の分析・評価、および第三次策定の資料とするために、以下の内容で実態調査を実施した。今後評価を行い、第二次行動計画の報告書を作成する。</p> <p>1 対象者 20歳以上の区民 4,000人（無作為抽出）</p> <p>2 方法 郵送で調査票を発送、回収。 令和5年1月20日現在、回収率は約41%、1,643件。</p> <p>3 主な質問内容 学識経験者（足立区地域保健福祉推進協議会 健康あだち21 専門部会長、副部会長）からのご意見を基に設定した。 (1) 「健康あだち21 行動計画」第二次の評価指標に関するもの 例：主観的健康観、運動・食習慣、喫煙・飲酒・口腔ケアの状況 (2) 今後の社会情勢や環境の変化と健康の関連を予測するもの 例：地域とのつながり、幸福度、健康情報の入手方法等</p> <p>4 スケジュール（予定）</p> <table border="0"> <tr> <td>令和4年12月 2日</td> <td>委託業者による質問票の発送</td> </tr> <tr> <td>12月27日</td> <td>質問票回答締め切り</td> </tr> <tr> <td>令和5年 1月～2月</td> <td>委託業者による集計 学識への評価依頼</td> </tr> <tr> <td>2月～3月</td> <td>評価・まとめ</td> </tr> <tr> <td>4月～5月</td> <td>報告書作成</td> </tr> </table> <p>5 その他 第三次行動計画の期間は、国の次期国民健康づくり運動プランに ならい、令和6（2024）年度から令和17（2035）年度の 12年間を見込んでおり、令和11（2029）年度頃に中間評価を 予定している。 その際、経年変化等を比較するため、今回調査した方のうち同意を いただいた方には、中間評価の調査書の個別送付を予定する。</p>	令和4年12月 2日	委託業者による質問票の発送	12月27日	質問票回答締め切り	令和5年 1月～2月	委託業者による集計 学識への評価依頼	2月～3月	評価・まとめ	4月～5月	報告書作成
令和4年12月 2日	委託業者による質問票の発送										
12月27日	質問票回答締め切り										
令和5年 1月～2月	委託業者による集計 学識への評価依頼										
2月～3月	評価・まとめ										
4月～5月	報告書作成										

地域保健福祉推進協議会

令和4年度 第2回健康あだち21 専門部会報告資料

令和5年2月27日（月）

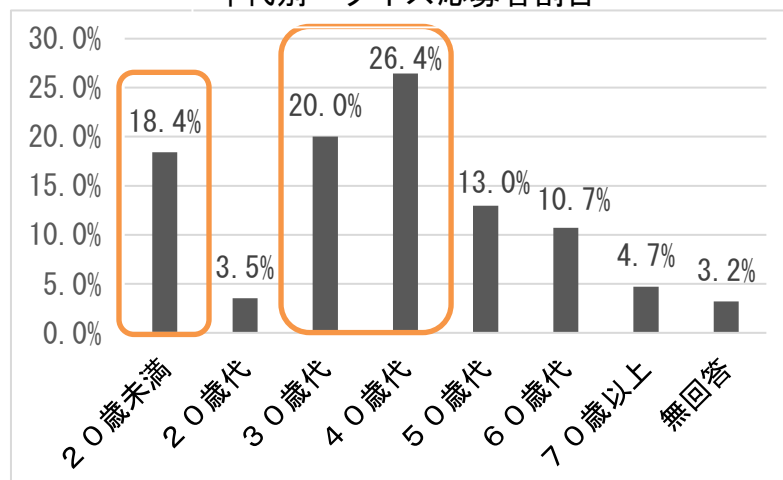
件名	令和4年度食育月間の取り組み結果について																										
所管部課	こころとからだの健康づくり課、シティプロモーション課 産業振興課、学務課、子ども施設指導・支援課																										
内容	<p>令和4年度食育月間について、今年度は区制90周年記念事業として「ベジタベ×おいしい給食で“ちょい増し野菜”」をテーマに啓発を行なった。</p> <p>1 主な事業</p> <p>(1) ベジタベライフ協力店特別企画</p> <p>「野菜たっぷりおいしい給食メニュー」の提供</p> <table border="1" data-bbox="566 913 1043 1016"> <tr> <th>実施店舗数</th> <th>合計提供数</th> </tr> <tr> <td>7店舗</td> <td>915食</td> </tr> </table> <p>ア 対象メニューを購入し、区ホームページの専用フォームから応募した方に、抽選で野菜の詰合せ等をプレゼント</p> <table border="1" data-bbox="566 1117 1043 1220"> <tr> <th>応募数</th> <th>当選者</th> </tr> <tr> <td>341人</td> <td>20人</td> </tr> </table> <p>年代別・おいしい給食メニュー提供割合</p>  <table border="1" data-bbox="491 1310 1225 1697"> <thead> <tr> <th>年代</th> <th>提供割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20歳代前半</td> <td>7.3%</td> </tr> <tr> <td>20歳代後半</td> <td>3.2%</td> </tr> <tr> <td>30歳代</td> <td>16.7%</td> </tr> <tr> <td>40歳代</td> <td>20.8%</td> </tr> <tr> <td>50歳代</td> <td>26.4%</td> </tr> <tr> <td>60歳代</td> <td>11.1%</td> </tr> <tr> <td>70歳代</td> <td>11.8%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>2.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>年代別に「おいしい給食メニュー」の提供割合をみると、最も多かったのが50歳代で、次いで40歳代、30歳代であった。</p> <p>(2) セブン-イレブン・ジャパンとの連携企画</p> <p>ア おいしい給食メニュー（えびクリームライス）、ちょい増し野菜メニュー（こまつなサラダ）を商品化し、区内全店舗などで販売（178店舗）※好評につき6月21日から葛飾区、江戸川区、江東区等合計10区の一部に販売店舗を拡大</p>	実施店舗数	合計提供数	7店舗	915食	応募数	当選者	341人	20人	年代	提供割合	20歳代前半	7.3%	20歳代後半	3.2%	30歳代	16.7%	40歳代	20.8%	50歳代	26.4%	60歳代	11.1%	70歳代	11.8%	無回答	2.6%
実施店舗数	合計提供数																										
7店舗	915食																										
応募数	当選者																										
341人	20人																										
年代	提供割合																										
20歳代前半	7.3%																										
20歳代後半	3.2%																										
30歳代	16.7%																										
40歳代	20.8%																										
50歳代	26.4%																										
60歳代	11.1%																										
70歳代	11.8%																										
無回答	2.6%																										

(3) 「ベジタベ×おいしい給食クイズ」の実施

ア リーフレット及びあだち広報に野菜やおいしい給食にちなんだクイズを掲載し、区ホームページの専用フォームから応募した方に、抽選でベジタベグッズをプレゼント

応募数	当選者
934 人	350 人

年代別・クイズ応募者割合



年齢別に「クイズ応募者」の割合をみると、最も多いのが40歳代で、次いで30歳代、20歳未満であった。

(4) 地域学習センターや図書館での啓発

ア 「おいしい給食」をテーマにした親子料理教室を実施

実施場所	実施人数
ギャラクシティ	8組 16人
新田地域学習センター	6組 12人

イ 図書館、ギャラクシティ、文教大学で「ベジチェック（推定野菜摂取量測定）」や展示を実施

実施場所	実施人数
図書館 5 か所	634 人
ギャラクシティ	223 人
文教大学	51 人
合計	908 人

(5) 北足立市場協会及び J A 東京スマイルとの連携

ア 野菜を購入した方を対象にベジタベエコバッグ及び野菜レシピをプレゼント（ベジタベライフ協力店に登録している青果店 33 店舗）

イ おいしい野菜の選び方教室の実施（北足立市場協会協力）

(参加者:会場 10 人、ライブ配信 123 人視聴、7 月 15 日現在の延べ視聴回数 1,731 回)

※ ライブ配信を視聴された方に抽選で野菜の詰め合わせを 10 名様にプレゼント

ウ 「あだち菜の郷」及び農産物直売所でのぼり旗の設置及び野菜レシピの配布等 (9 カ所)

(6) 企業等との連携

ア セブン&アイグループ、北千住マルイ、ルミネ北千住店、無印良品、ファミリーレストラン等にのぼり旗及びポップ等の設置 (協力企業 11 社)

イ 足立成和信用金庫、明治安田生命保険相互会社、第一生命保険等でリーフレットを配布 (5,230 枚)

ウ キューピー (株) による区内スーパーマーケットでの調味料コーナーへののぼり旗やポップ等の設置 (10 社、27 店舗)

(7) おいしい給食事業における「ひと口目は野菜から」の強化

ア 区立保育園、小・中学校でのもりもり給食ウィークや野菜の日 (6/19) 等での啓発

イ 区立・私立保育園、幼稚園での小松菜栽培及び調理体験等 (小松菜の種を 193 施設に配付)

2 区民への周知

(1) あだち広報 5/25 号

(2) リーフレット配布及びポスター掲示

配布場所: あだちベジタバライフ協力店、地域学習センター、保育園、幼稚園、区立小学校、元気な職場づくり応援事業所等

(3) A-メール、区ホームページ、Facebook、ビュー坊テレビで動画等を活用して啓発

・ A-メール 10 回、Facebook、Twitter 107 回

(4) 懸垂幕 (本庁舎、北千住マルイ)、横断幕 (本庁舎)

3 今後の方針

若い世代を対象に、11月の糖尿病月間や元気な職場づくり応援事業 (健康経営) 等を通じて、糖尿病リスクのチェック、野菜摂取量の測定、体組成測定等を実施し、引き続き野菜摂取を増やす等の行動変容につながる啓発を行う。

地域保健福祉推進協議会

令和4年度 第2回健康あだち21 専門部会報告資料

令和5年2月27日（月）

件 名	令和4年度糖尿病月間の取り組み結果について
所管部課	衛生部こころとからだの健康づくり課
内 容	<p>11月14日の「世界糖尿病デー」に合わせて実施した11月の糖尿病月間の結果について、以下の通り報告する。</p> <p>今年度は、主な対象を30～40歳代の男性とし、自ずと野菜を食べられるような環境の提供と、自身の身体や健康リスクに関する「気づき」から「行動」に繋げることを目的に、糖尿病の予防啓発を行った。</p> <p>1 テーマ 見つけよう あなたのベジ×^{かける}○○</p> <p>2 内容 (1) 自分の身体の状態や健康リスクをもとに行動を起こすきっかけづくり 【応募企画】 <u>「自分で選択！ベジ×^{かける}○○チャレンジ！」</u></p> <p>ア 概要 啓発の次のステップとして、これまでの「ベジタベ」に加え、何か糖尿病予防となることに取り組んでもらうきっかけを作ることを目的とする。</p> <p>下記2ステップを実施し、区ホームページやはがきで応募。抽選で健康グッズ等のプレゼントを贈呈。</p> <p><ステップ1> 糖尿病に関するクイズ</p> <p><ステップ2> 下記から1つ選んで取り組む。</p> <p>① 食事コース（3日間） ② 運動コース（3日間）※ ③ 測定コース</p> <p>※ スポーツ振興課主催の「あだちウォーキングチャレンジ」と連携。相互に紹介し、各々の企画へ応募可とした。</p>

イ プレゼント内容

Apple Watch SE … 1名
 フォームローラー … 3名
 腹筋ローラー … 5名
 糖質オフ食品セット … 5名

ウ 測定会（③測定コース対象）での測定人数

（ア）特別企画 カラダ測定会

合計測定人数：1,965名

場所	日時	ベジ チェック	体組成計
フリーマーケット (千代田商店街)	11月5日(土) 10時～14時	77名	—
興本図書館	11月7日(月) 10時～15時	73名	—
伊興図書館	11月9日(水) 10時～15時	112名	—
おいしい 給食フェア (アリオ西新井)	11月12日(土) 10時～16時	397名	185名
	11月13日(日) 10時～16時	498名	227名
つながるフェスタ (六町公園)	11月20日(日) 11時～14時	77名	—
ワンデイ ウォーキング (総合スポーツセ ンター) ※雨天中止	11月23日 (祝・水) 10時～15時		
梅田図書館	11月24日(木) 10時～15時	72名	—
ギャラクシティ	11月26日(土) 10時～15時	182名	65名
合計		1,488名	477名

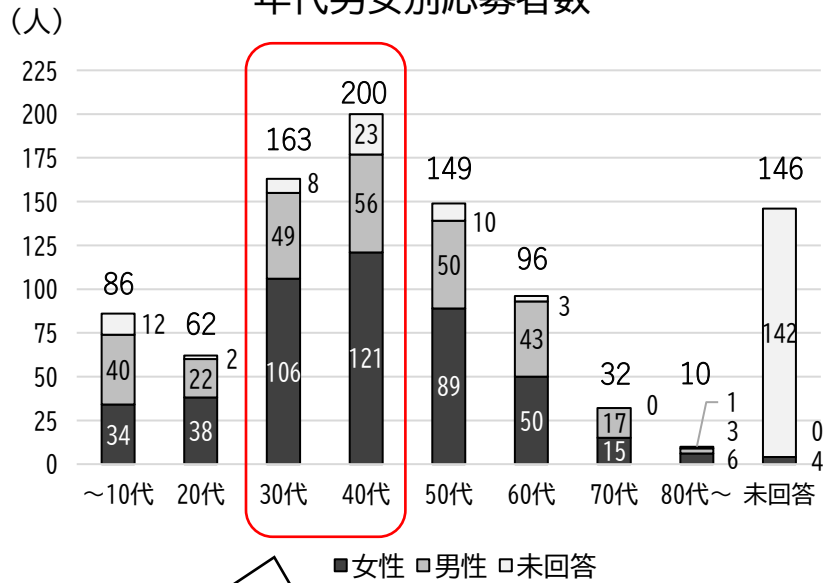
(イ) 薬局でのヘモグロビンA1c測定

実施薬局数	測定人数 (括弧は昨年度)
13か所	22名 (11名)

エ 応募者数

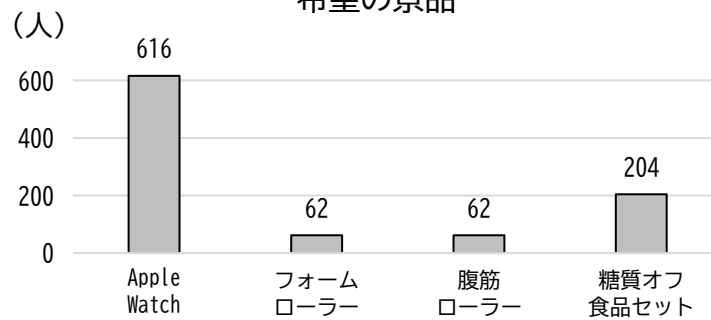
944名 (昨年度127名)

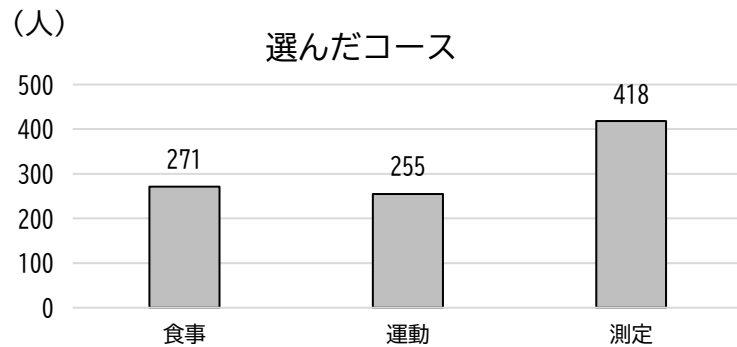
年代男女別応募者数



主な対象である30~40代は多かったが、男性よりも女性の方が多かった。

希望の景品





応募者の感想（抜粋）

- ① 足立区で取り組んでるベジファーストは知ってますが、改めて意識すると自分で出来てなかった事が多く、見直す良いきっかけになりました。
- ② 自分の体の組成や摂取野菜量を知ること、何が不足していて何を改善していけばいいのか気づくことができ、よい機会になりました。

(2) スーパー、コンビニ等民間企業との連携

ア セブン-イレブンによる、こまつなサラダの再販およびPRポップの掲示

イ イトーヨーカドー等、スーパーでのポスター等掲示

3 広報・周知

(1) あだち広報 10/25号

(2) リーフレット配布(10,000部)及びポスター掲示(800枚)

ア 元気な職場づくり応援事業所

イ 保健センター、区民事務所等の区施設

ウ ギャラクシティ、生物園、都市農業公園

エ 医療機関、薬局

オ ワーク・ライフ・バランス認定企業

カ 足立成和信用金庫、明治安田生命保険相互会社等

(3) 区ホームページ、A-メール、Twitter、Facebook、LINE、ビュー坊テレビを活用して啓発

地域保健福祉推進協議会

令和4年度 第2回健康あだち21 専門部会情報連絡資料

令和5年2月27日 (月)

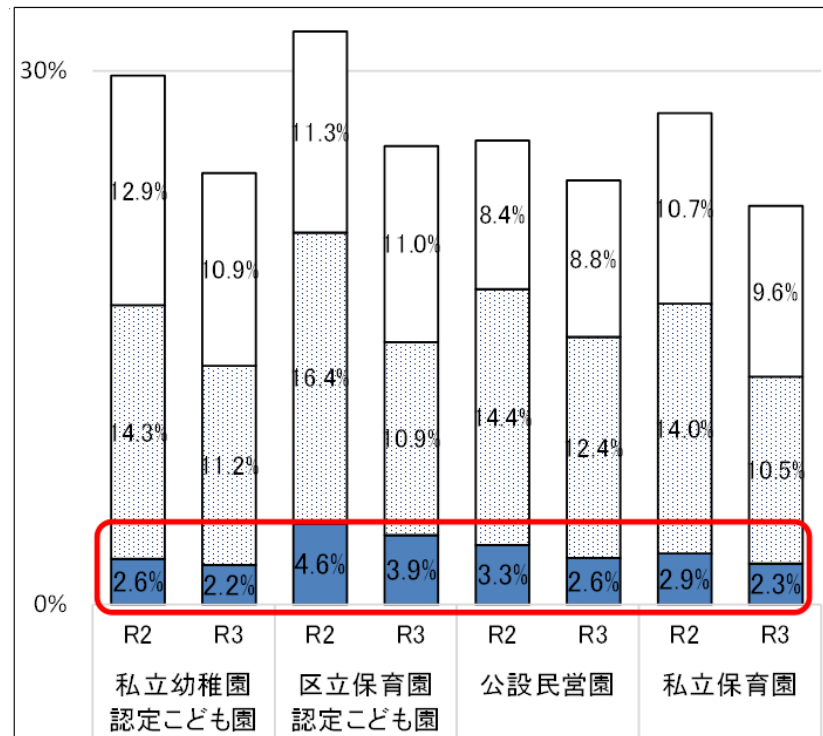
<p>件名</p>	<p>令和3年度あだちっ子歯科健診の実施結果について</p>																																														
<p>所管部課</p>	<p>子ども家庭部 子ども政策課、子ども施設運営課、私立保育園課、子ども施設入園課 衛生部 データヘルス推進課</p>																																														
<p>内容</p>	<p>平成27年度から実施している「あだちっ子歯科健診」について、令和3年度の実施結果がまとまったので報告する（詳細は別添資料6参照）。</p> <p>1 主な成果</p> <p>(1) 乳歯にむし歯のある子どもの割合は、前年度より減少 事業開始当初（平成27年度）と比較すると、年長児（6歳）は13.9ポイント、年中児（5歳）は13.2ポイント、年少児（4歳）は9.7ポイントと大きく減少した。</p> <p>(図1) 乳歯にむし歯がある子どもの割合</p> <table border="1"> <caption>(図1) 乳歯にむし歯がある子どもの割合</caption> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年少児(4歳)</td> <td>19.9%</td> <td>16.7%</td> <td>14.8%</td> <td>12.0%</td> <td>10.9%</td> <td>12.7%</td> <td>10.2%</td> </tr> <tr> <td>年中児(5歳)</td> <td>30.3%</td> <td>27.7%</td> <td>26.2%</td> <td>21.9%</td> <td>20.0%</td> <td>19.7%</td> <td>17.1%</td> </tr> <tr> <td>年長児(6歳)</td> <td>37.8%</td> <td>38.2%</td> <td>36.1%</td> <td>33.1%</td> <td>29.4%</td> <td>29.3%</td> <td>23.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>年長児(6歳)は前年度より5.4ポイント減少</p> <p>(2) 取り組みにより、「むし歯り患率」の施設間の差が縮小 むし歯がある子どもの割合の伸び率が高い施設を優先に、「仕上げみがき」や「歯によいおやつ等の取り組み」を強化した結果、施設間の差が縮小した。</p> <p>(表1)4年連続同一施設で歯科健診を受けた年長児(6歳)における施設種別のむし歯り患率比較</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">むし歯り患率</th> <th rowspan="2">施設間差</th> </tr> <tr> <th>最も低い施設種別</th> <th>最も高い施設種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30 年度末 6歳(1,444 人)</td> <td>23.2%</td> <td>39.8%</td> <td>16.6 ポイント</td> </tr> <tr> <td>R3 年度末 6歳(1,781 人)</td> <td>21.2%</td> <td>24.2%</td> <td>3.0 ポイント</td> </tr> </tbody> </table> <p>差が縮小</p>	年齢	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	年少児(4歳)	19.9%	16.7%	14.8%	12.0%	10.9%	12.7%	10.2%	年中児(5歳)	30.3%	27.7%	26.2%	21.9%	20.0%	19.7%	17.1%	年長児(6歳)	37.8%	38.2%	36.1%	33.1%	29.4%	29.3%	23.9%		むし歯り患率		施設間差	最も低い施設種別	最も高い施設種別	H30 年度末 6歳(1,444 人)	23.2%	39.8%	16.6 ポイント	R3 年度末 6歳(1,781 人)	21.2%	24.2%	3.0 ポイント
年齢	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3																																								
年少児(4歳)	19.9%	16.7%	14.8%	12.0%	10.9%	12.7%	10.2%																																								
年中児(5歳)	30.3%	27.7%	26.2%	21.9%	20.0%	19.7%	17.1%																																								
年長児(6歳)	37.8%	38.2%	36.1%	33.1%	29.4%	29.3%	23.9%																																								
	むし歯り患率		施設間差																																												
	最も低い施設種別	最も高い施設種別																																													
H30 年度末 6歳(1,444 人)	23.2%	39.8%	16.6 ポイント																																												
R3 年度末 6歳(1,781 人)	21.2%	24.2%	3.0 ポイント																																												

2 課題と今後の対策

【課題 1】

5本以上未処置のむし歯がある子どもの割合は、区立保育園・認定こども園が最も多い。

(図2) 年長児(6歳)の未処置のむし歯がある子どもの割合(施設種別)
 ■ 5本以上 ■ 1~4本 □ 0本(すべて処置済み)

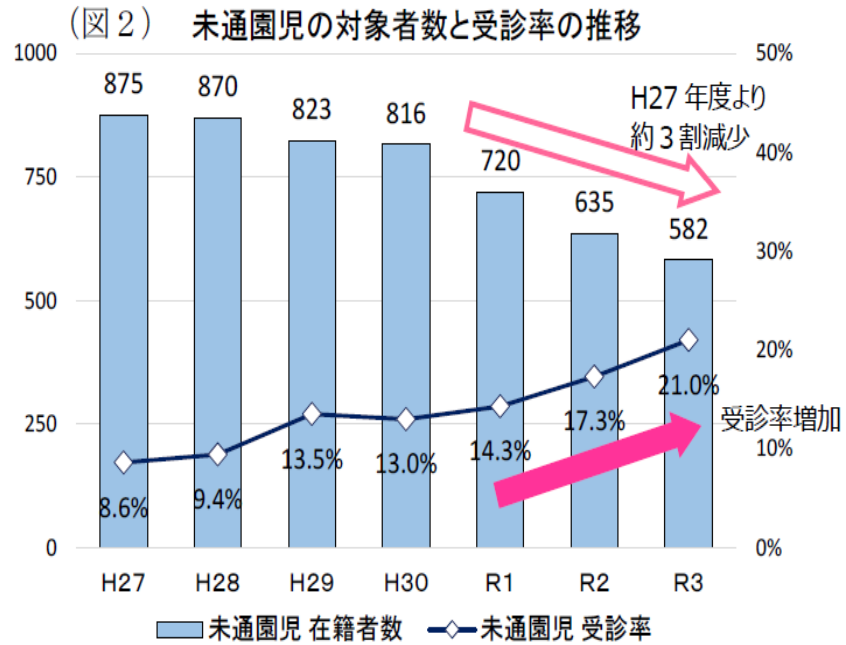


【対策】

- (1) 特にむし歯の多い区立園に対し、子ども家庭部歯科衛生士が歯科指導に入り、「仕上げみがき方法の指導」や「歯によいおやつのおやつ」を行い、むし歯予防のための生活習慣の定着をめざす。
- (2) 自園の子ども一人ひとりの歯科健診結果について、職員が理解を深め、具体的な保健指導や啓発活動等につながる体制を目指し、子ども家庭部歯科衛生士が職員向けの研修等を検討・実施していく。
- (3) 園が積極的に未処置のむし歯を有する子どもへの歯科受診勧奨を行い、治療につなげられるよう、情報提供等を行い、支援していく。

【課題2】

未通園児の受診率は、平成27年度からみると増加しているものの、施設通園児と比較すると、依然低い。



【対策】

- (1) 未通園児のうち、認可外保育施設（3園）通園児に施設内健診を実施することで、確実な受診に繋げていく。
- (2) 福祉事務所や発達療育施設などの関係機関から、積極的な働きかけを行い、受診勧奨をしていく。
- (3) 前年度の未受診者等を対象に、ハガキ等での複数回の受診勧奨を実施する。

令和3年度 あだちっ子歯科健診※実施結果報告書

あだちっ子歯科健診は、年少児（4歳）～年長児（6歳）が在籍する区内すべての教育・保育施設で、「統一基準の歯科健診」「ていねいな受診勧奨」「結果の集計・分析・フィードバック」をセットに実施している。※ あだちっ子歯科健診の概要はP11へ
令和3年度の実施結果について、以下のとおり報告する。

令和3年度 あだちっ子歯科健診実施結果報告書・目次

1 令和3年度施設参加率と受診率	P 1
2 令和3年度あだちっ子歯科健診結果【主な結果】	P 3
（1）乳歯にむし歯がある子どもの割合は前年度より減少	
（2）未処置のむし歯がある子どもの割合は全年齢で減少	
（3）施設種別 未処置のむし歯がある子どもの割合（R2、R3年度比較）	
（4）4か年の受診状況及び施設種別・むし歯り患率の変化【子どもの健診結果の突合分析】	
3 令和4年度の主な取り組み	P 6
4 糖尿病対策アクションプランー歯科口腔保健対策編ー【中間見直しによる改定版】進捗状況	P 6
5 資料編	P 7

1 令和3年度施設参加率と受診率

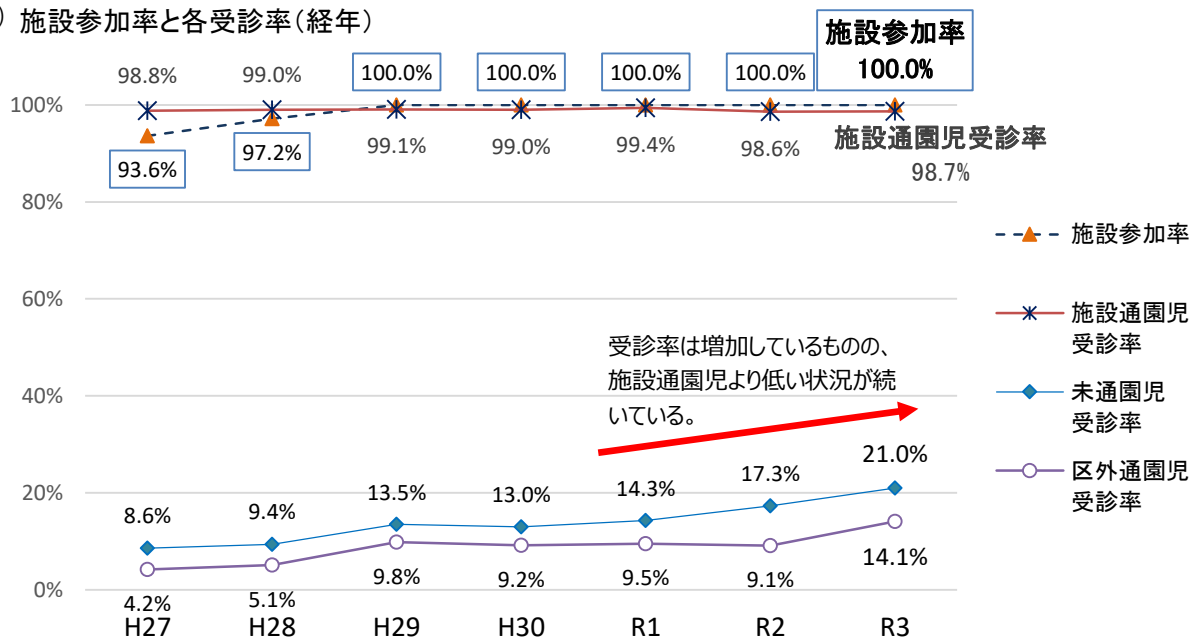
（1）教育・保育施設の参加率は、5年連続100%（図1）

全221施設（前年度と同数）で実施し、14,859名が受診した。

（2）歯科健診受診率は、施設通園児が微増、未通園児等は増加している（図1）

施設通園児98.7%（前年度比0.1ポイント増）、区内の教育・保育施設に通っていない子ども（以下、「未通園児等」という）のうち、未通園児21.0%（前年度比3.7ポイント増）、区外通園児14.1%（前年度比5.0ポイント増）と、いずれも受診率が増加した。

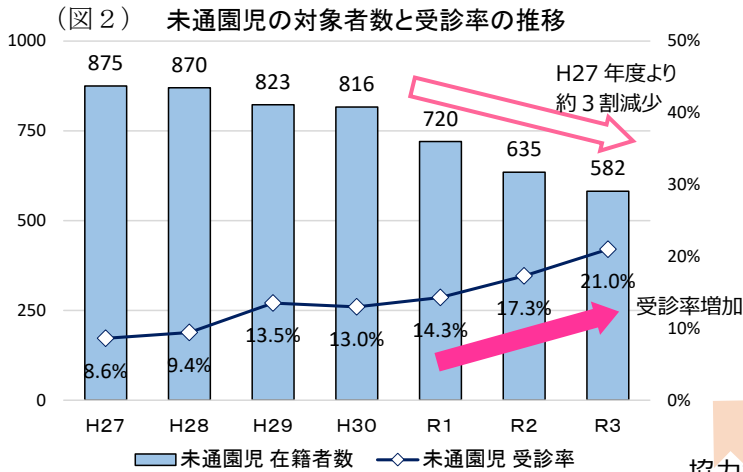
（図1）施設参加率と各受診率（経年）



(3) 未通園児等における対象者数および受診率【7年間の推移】

ア 対象者数は減少し、受診率は増加している

未通園児は、対象者が約3割減少、受診率は12.4ポイント増加した(図2)。また、区外通園児は、対象者数がおよそ半減し、受診率は9.9ポイント増加している(図3)。

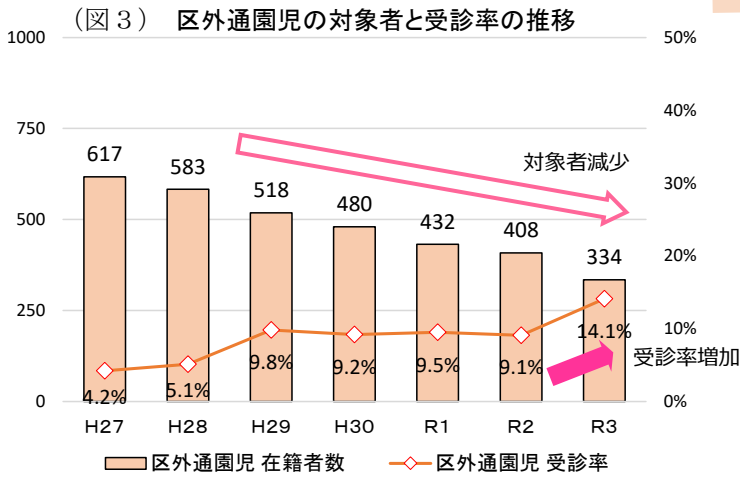


9月中旬 対象者に通知発送



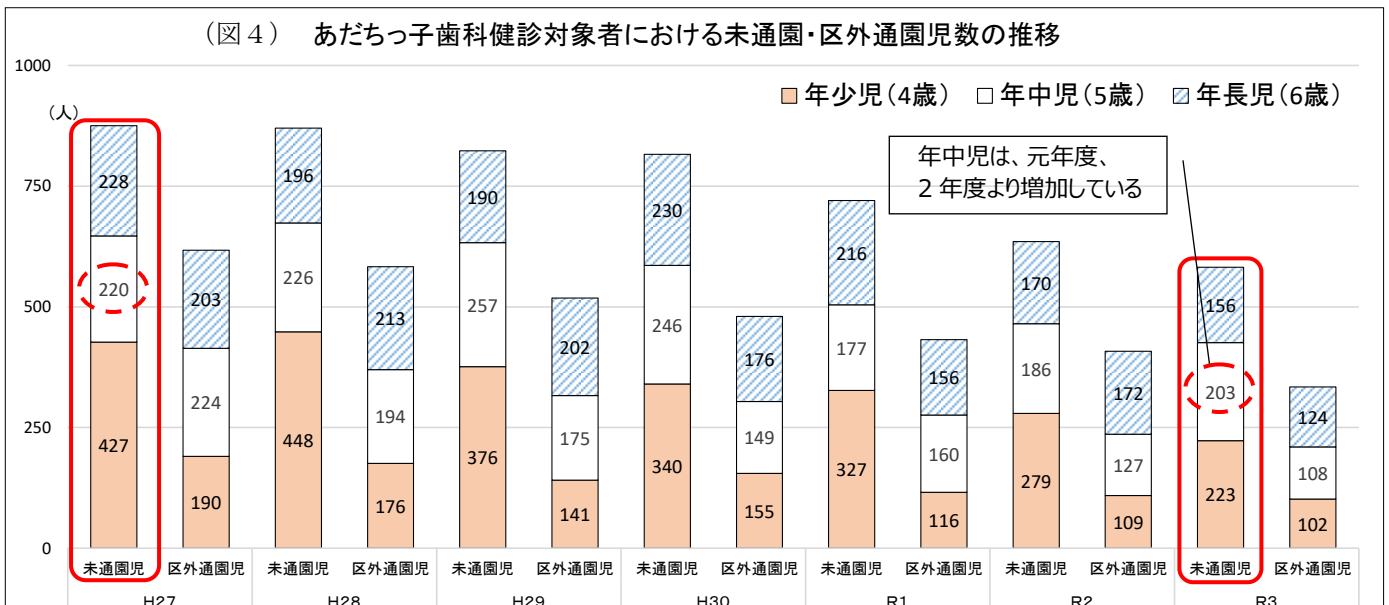
協力歯科医療
機関で受診

健診を希望しない方は、
アンケートハガキを返信
(詳細は P8 参照)



イ 年齢別割合の推移 (図4)

未通園児におけるH27年度とR3年度を比較すると、年長児は約3割減、年中児は微減に止まる中、年少児は半減している。

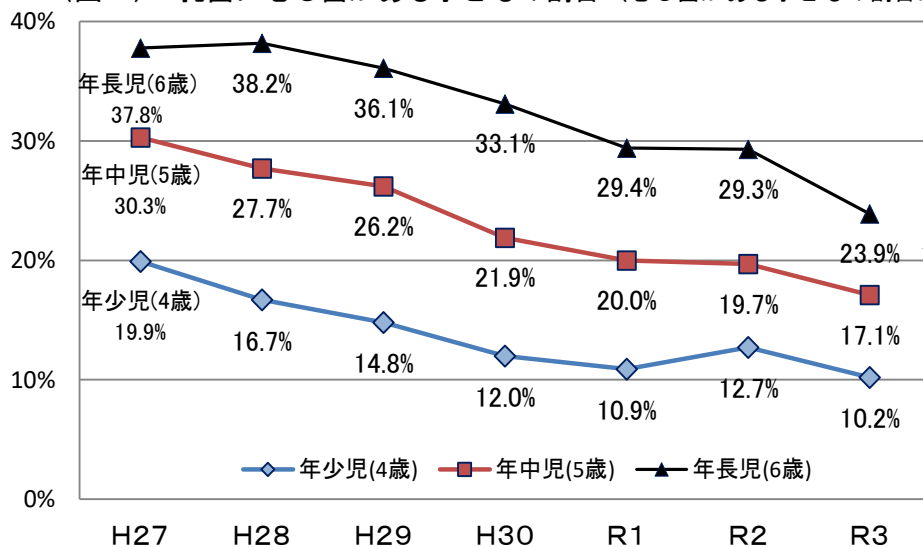


2 令和3年度あだちっ子歯科健診結果【主な結果】

(1) 乳歯にむし歯がある子どもの割合は、前年度より減少

事業開始当初(H27年度)からみると、年長児(6歳)は13.9ポイント、年中児(5歳)は13.2ポイント、年少児(4歳)は9.7ポイントと大きく減少した。

(図5) 乳歯にむし歯がある子どもの割合(むし歯がある子どもの割合は、処置歯も含む)



年長児(6歳)は前年度より5.4ポイント減少

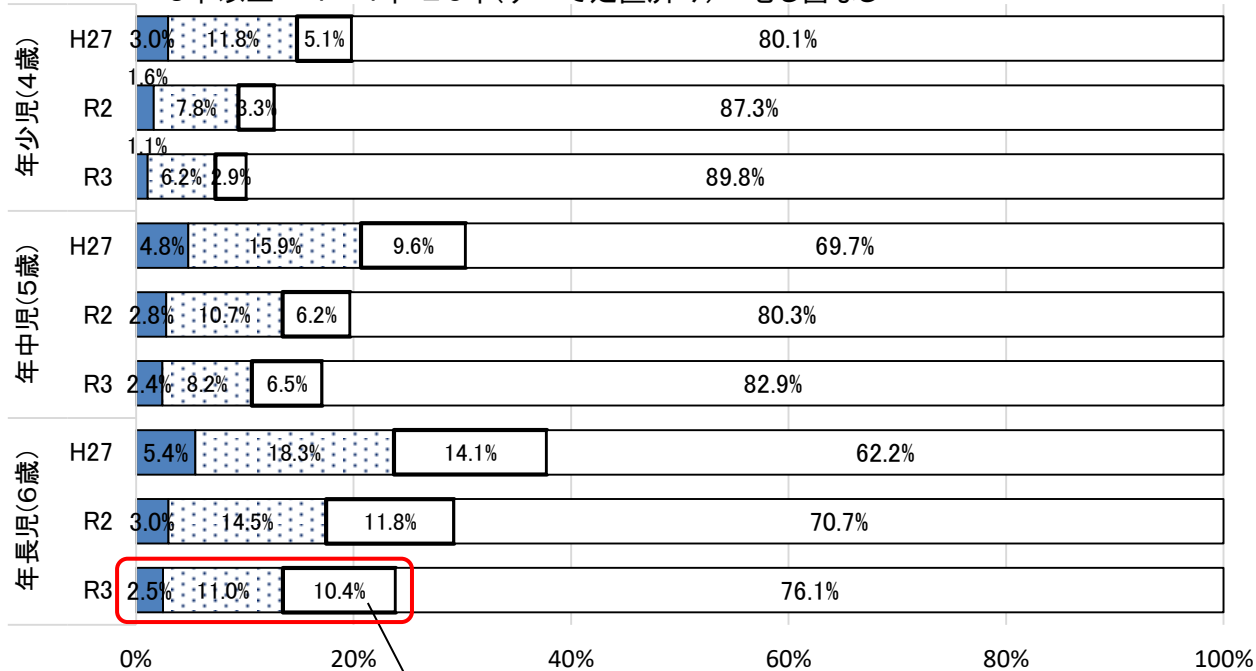
※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため秋に歯科健診を実施

(2) 未処置のむし歯がある子どもの割合は、全年齢で減少

5本以上未処置のむし歯がある子どもの割合は、全年齢で前年度より減少し、平成27年度からみると半減している。

(図6) 未処置のむし歯がある子どもの割合(H27・R2・R3年度比)

■5本以上 □1~4本 □0本(すべて処置済み) □むし歯なし



R3年度むし歯がある年長児23.9%のうち、「未処置0本(すべて治療済み)」の割合は10.4%と半数に迫っている

(3) 施設種別 未処置のむし歯がある子どもの割合 (R2、R3 年度比較)

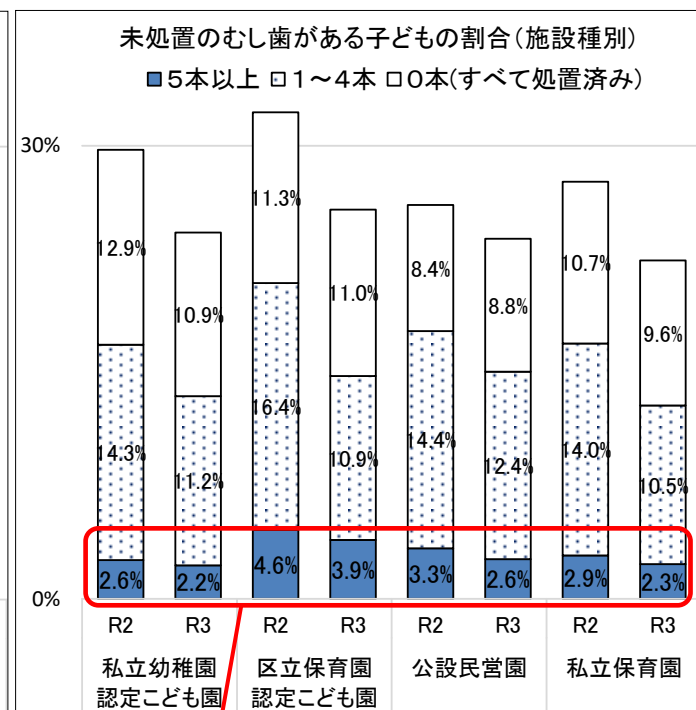
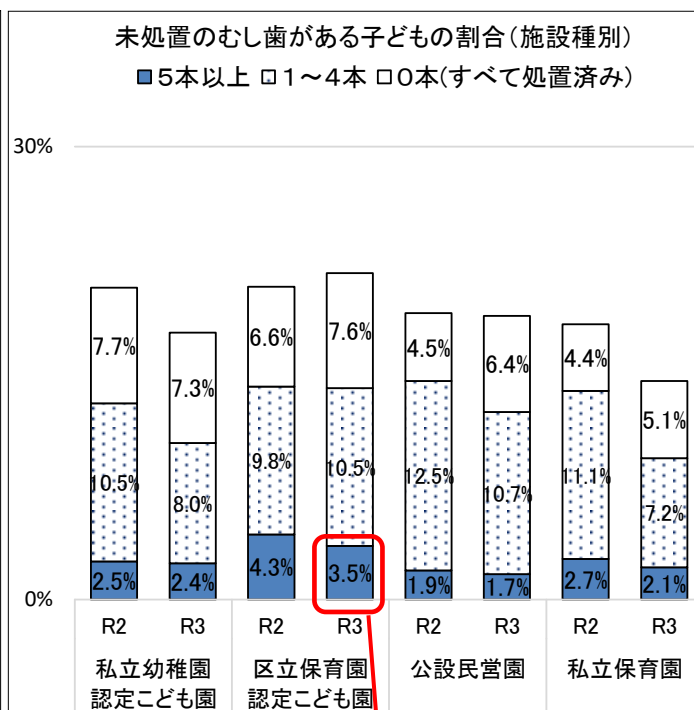
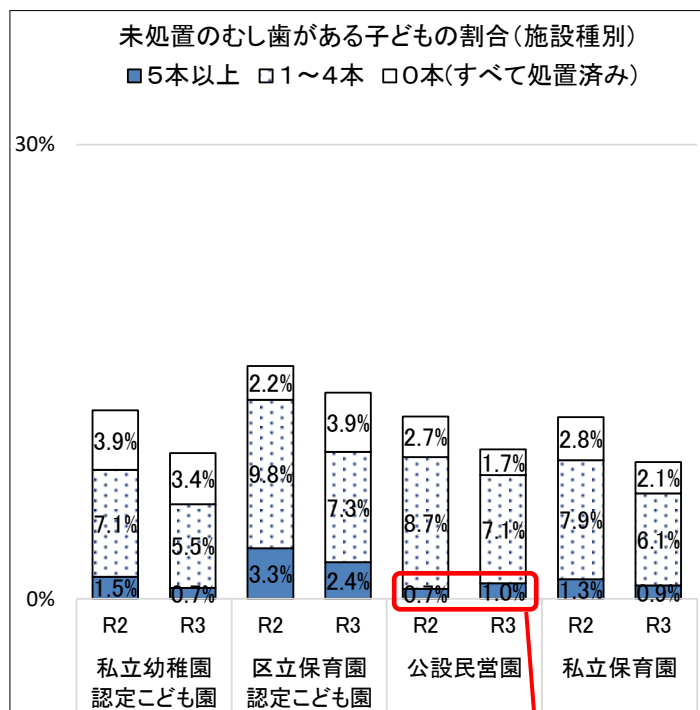
「未処置のむし歯が0本(すべて処置済み)」の割合は、年中児・年長児と年齢が上がるにつれて増加している。

年長児で、依然として5本以上未処置のむし歯を有する子どもは、「歯科医療機関の受診(治療)につながらない」「治療しても新たなむし歯ができてしまう」等、家庭支援が必要な可能性があるため、より丁寧に対応することが求められる。

(図7) 年少児 (4歳)

(図8) 年中児 (5歳)

(図9) 年長児 (6歳)



5本以上未処置のむし歯がある子の割合 (R2・R3)
公設民営園は、**0.3ポイント増加**

5本以上未処置のむし歯がある子の割合 (R2・R3)
すべての施設種別で**減少**
区立園が3.5%で最も多い

5本以上未処置のむし歯がある子の割合 (R2・R3)
年長児の2~4%は5本以上の未処置のむし歯を有している

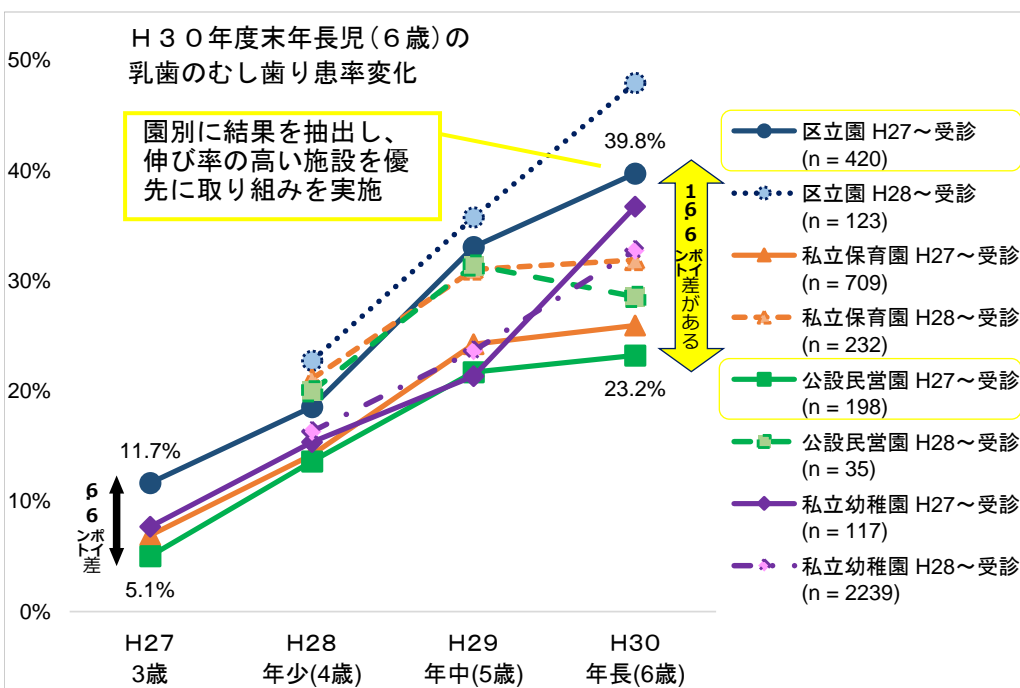
(4) 4か年(3歳から6歳)の受診状況及び施設種別・むし歯り患率の変化【同一の子どもの健診結果をつなげて分析】

「同一施設で4か年連続受診した子ども」と「年少児(4歳)から受診した子ども」の歯科健診結果を突合・分析し、施設種別にむし歯り患率の変化をみた(図10、図11)。

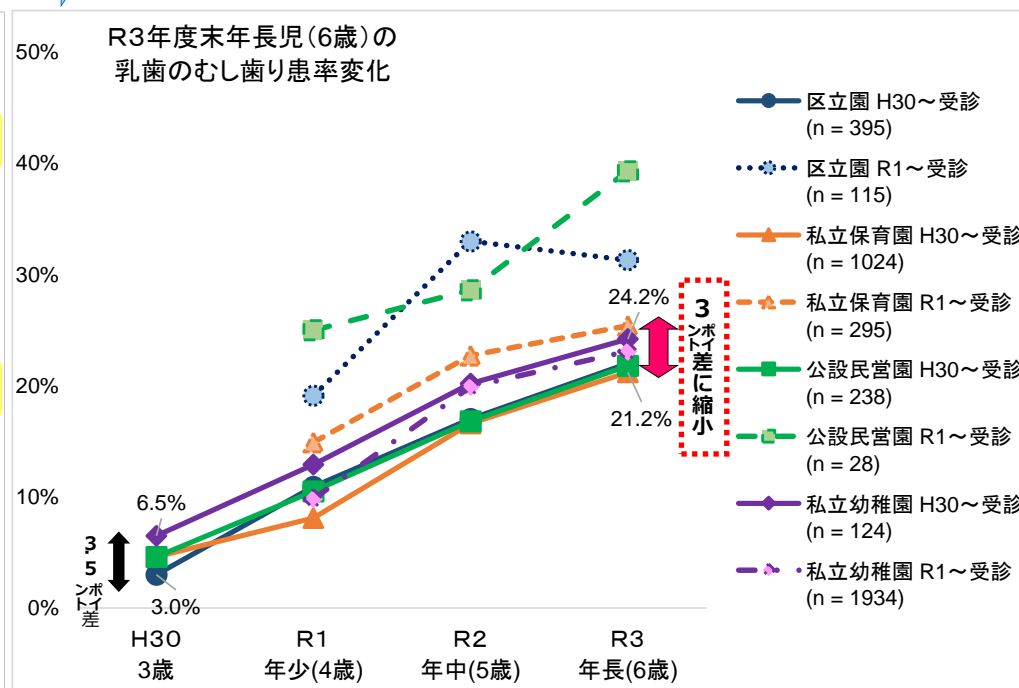
平成30年度末年長児(6歳)は、施設種別によるむし歯り患率の差が開いていたため、伸び率が高い施設を中心に、「仕上げみがき」や「歯によいおやつの習慣づくり」等、低年齢から取り組みを実施した。

令和3年度末年長児(6歳)は、施設種別による差が縮小し、全体のむし歯り患率も低下している。

(図10) H30年度末年長児(6歳)における施設種別むし歯り患率



(図11) R3年度末年長児(6歳)における施設種別むし歯り患率



※1 むし歯がある子どもの割合は、処置歯も含む。
 ※2 H27~H30年度を受診者のうち、H30年度末年長児(6歳)の子どものデータを突合して分析した。

※1 むし歯がある子どもの割合は、処置歯も含む。
 ※2 H30~R3年度を受診者のうち、R3年度末年長児(6歳)の子どものデータを突合して分析した。

3 令和4年度の主な取り組み【子ども家庭部、衛生部が連携して取り組む】

(1) 歯科健診データを活用した「子どもの歯の健康づくり」の推進

ア 区立保育園・こども園への支援を強化【子ども家庭部】

令和3年度歯科健診データを基に、未処置のむし歯がある子どもの割合が高い施設を優先に、「受診(治療勧奨)」や「保護者・職員による仕上げみがき」、ならびに「歯によいおやつ」等の啓発を強化し、子どものむし歯予防を推進する。

イ 「10日間チャレンジカード」で家庭の歯みがき習慣づくりを推進【衛生部】

保健センター歯科衛生士による6歳臼歯健康教室(年長児版)は、コロナ禍で歯みがき練習が困難なため、『園で覚えた歯みがきを、おうちで練習!』と題して「歯みがきチャレンジカード」に取り組み、歯みがき+保護者の仕上げみがきの定着を図る。

(2) 未通園児の健診受診の推進【子ども家庭部】

未通園児のうち、認可外保育施設(3園)通園児に施設内健診を実施することで、確実な受診に繋げていく。また、引き続き、区サービス利用者に対する関係機関からの積極的な働きかけや、前年度のデータ分析から抽出した未受診者を対象に、ハガキ等での受診勧奨を実施する。

(3) 「乳歯への対策」が永久歯に及ぼす影響ならびに施設の取り組みを分析

各歯科健診データから、乳歯対策が健全な永久歯の育成に及ぼす影響等を分析し、未就学期におけるさらなる効果的な展開を検討する。

4 「糖尿病対策アクションプラン-歯科口腔保健対策編-【中間見直しによる改定版】」進捗状況

あだちっ子歯科健診に関連する実績値及び目標値は、下記のとおりである。むし歯がない子どもの割合(年長児)は5.4ポイント増加し、目標値を大きく上回っている。

(表1)

		28年度実績 中間実績値	2年度実績 (2020年度)	令和3年度実績 (2021年度)	R4年度 目標値
① あだちっ子 歯科健診(4 ~6歳児)の 受診率を向上 させる	私立幼稚園・認定こども園	98.7%	98.6%	98.4%	100%
	区立保育園・認定こども園	99.1%	98.5%	98.9%	100%
	公設民営園	99.0%	98.4%	99.2%	100%
	私立保育園	99.7%	98.9%	99.1%	100%
	認証保育所	98.5%	97.8%	100.0%	100%
	未通園児等	7.7%	14.1%	18.4%	15%
② 受診(治療) 報告書提出率	私立幼稚園・認定こども園	49%	61.4%	62.5%	60%
	区立保育園・認定こども園	62%	74.0%	70.3%	75%
	公設民営園	61%	81.8%	78.9%	75%
	私立保育園	68%	77.7%	77.2%	75%
	認証保育所	70%	81.8%	77.5%	75%
	未通園児等	50%	87.2%	58.7%	60%
③ むし歯がない子ども の割合	年長児	61.8%	70.7%	76.1%	70%
	小学1年生	59.8%	66.9%	67.3%	65%
④ 5本以上未処置のむし歯がある子どもの割合(年長児)		5.1%	3.0%	2.5%	3%

－資料編－

1 令和3年度あだちっ子歯科健診の実施結果

(1) 参加状況および実施時期

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止により9月～11月に実施したが、令和3年度は例年通り5月～7月に実施することができた。区内の教育・保育施設に通っていない子ども(以下、「未通園児等」という)へは、個別に通知を発送している。

(表2)

	施設数	参加数	参加率 (R2年度)	実施時期	備考
私立幼稚園 認定こども園	51	51	100% (100%)	令和3年5月～7月	
区立保育園 認定こども園	31	31	100% (100%)		
公設民営園	15	15	100% (100%)		
私立保育園	111	111	100% (100%)		
認証保育所	13	13	100% (100%)		年少児以上が在籍する施設
未通園児等	R3.9.1を基準日とし対象者を抽出			令和3年9月～11月	個別通知による歯科健診の勧奨

(2) 受診状況【各施設からの集計報告による実績値】

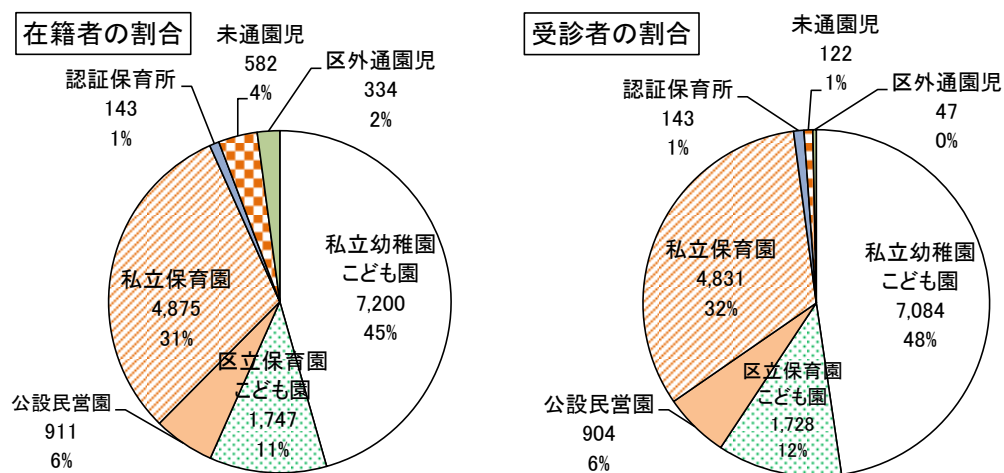
(表3)

※在籍者は、区外在住者を含む。未通園児等の在籍者は、対象者数を記載。

		年少児(4歳)		年中児(5歳)		年長児(6歳)		合計(人数)		
		在籍者	受診者	在籍者	受診者	在籍者	受診者	在籍者 (R2年度)	受診者 (R2年度)	受診率 (R2年度)
私立幼稚園 認定こども園		2,170	2,130	2,408	2,365	2,622	2,589	7,200 (7,806)	7,084 (7,695)	98.4% (98.6%)
区立保育園 認定こども園		545	541	574	569	628	618	1,747 (1,828)	1,728 (1,800)	98.9% (98.5%)
公設民営保育園		295	294	305	303	311	307	911 (931)	904 (916)	99.2% (98.4%)
私立保育園		1,712	1,699	1,573	1,558	1,590	1,574	4,875 (4,619)	4,831 (4,568)	99.1% (98.9%)
認証保育所		65	65	38	38	40	40	143 (136)	143 (133)	100.0% (97.8%)
未通 園児 等	未通園児	223	54	203	35	156	33	582 (635)	122 (110)	21.0% (17.3%)
	区外通園児	102	13	108	19	124	15	334 (408)	47 (37)	14.1% (9.1%)
合計 (R2年度)		5,112 (5,272)	4,796 (4,873)	5,209 (5,517)	4,887 (5,159)	5,471 (5,574)	5,176 (5,227)	15,792 (16,363)	14,859 (15,259)	
受診率 (R2年度)		93.8% (92.4%)		93.8% (93.5%)		94.6% (93.8%)		94.1% (93.3%)		

受診者の割合は、私立幼稚園が48%と最も多く、次いで私立保育園が32%と多くなっている。

(図12) 在籍者、受診者の割合



(3) 未通園児等の未受診理由

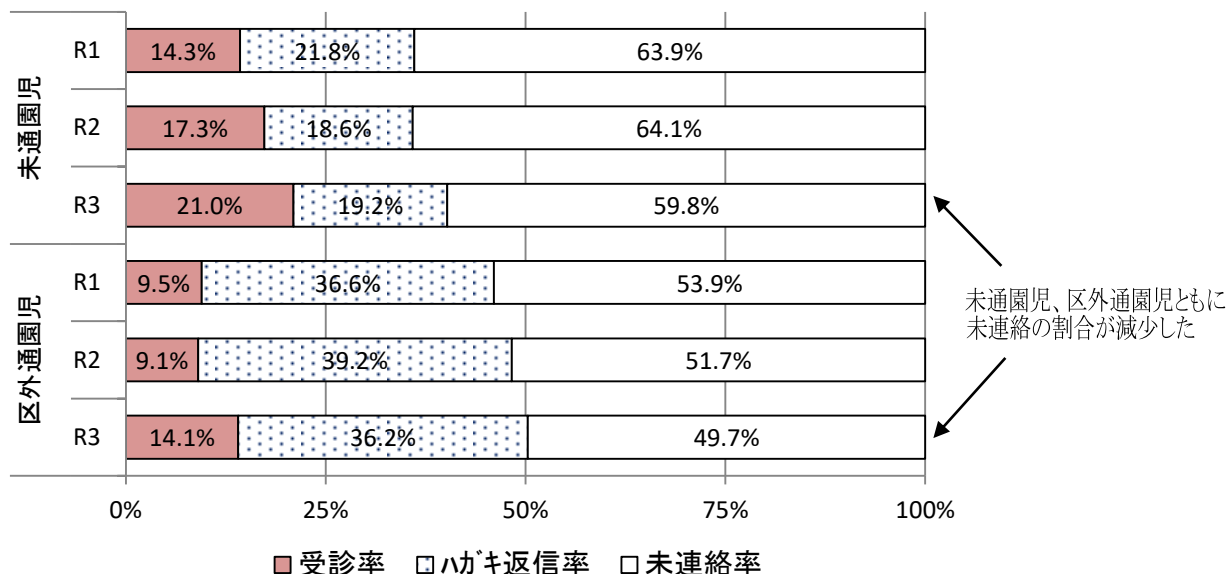
歯科健診の個別通知にアンケートハガキを同封し、健診を希望しない理由等を調査している。令和3年度は、未通園児の19.2%、区外通園児の36.2%から返信があった。

希望しない理由(複数回答可)は、「歯科医院に通院中または定期チェックを受けている」「通っている施設で受けた」の順に多くなっている。

(表4)

	対象者 (R2年度)	歯科健診受診		未受診			
		受診者 (R2年度)	受診率 (R2年度)	希望しないハガキ		未連絡	
				返信数 (R2年度)	返信率 (R2年度)	人数 (R2年度)	割合 (R2年度)
未通園児	582 (635)	122 (110)	21.0% (17.3%)	112 (118)	19.2% (18.6%)	348 (407)	59.8% (64.1%)
区外通園児	334 (408)	47 (37)	14.1% (9.1%)	121 (160)	36.2% (39.2%)	166 (211)	49.7% (51.7%)
合計	916 (1,043)	169 (147)	18.4% (14.1%)	233 (278)	25.4% (26.7%)	514 (618)	56.1% (59.3%)

(図13) 歯科健診を希望しない割合 (ハガキ返信率)



(4) 「足立区保健衛生システム」登録数

受診者のうち、区内在住児の結果を「足立区保健衛生システム」に登録し、分析を行った。システム登録者数は14,128名で、全受診者の95.1%であった。

(表5) ※受診者には区外在住児もいるため、受診者数と登録者数は一致していない。

	年少児(4歳)		年中児(5歳)		年長児(6歳)		システム登録人数合計	
	受診者 (R2年度)	登録者 (R2年度)	受診者 (R2年度)	登録者 (R2年度)	受診者 (R2年度)	登録者 (R2年度)	受診者 (R2年度)	登録者 (R2年度)
人数	4,796 (4,873)	4,575 (4,606)	4,887 (5,159)	4,633 (4,896)	5,176 (5,227)	4,920 (4,981)	14,859 (15,259)	14,128 (14,483)
登録率	95.4% (94.5%)		94.8% (94.9%)		95.1% (95.3%)		95.1% (94.9%)	

(5) 歯科健診分析結果（足立区保健衛生システムに登録した子どもの歯科健診結果）

ア 乳歯にむし歯がある子どもの割合（年齢別）

令和3年度の結果、乳歯にむし歯がある子どもの割合は、全年齢で減少した。

(表6) むし歯がある子どもの割合

	年少児(4歳)			年中児(5歳)			年長児(6歳)		
	受診者	むし歯有	有病率	受診者	むし歯有	有病率	受診者	むし歯有	有病率
平成27年度	4,829	959	19.9%	4,856	1,473	30.3%	5,014	1,894	37.8%
平成28年度	4,925	823	16.7%	5,086	1,408	27.7%	4,983	1,903	38.2%
平成29年度	4,868	719	14.8%	5,058	1,324	26.2%	5,134	1,854	36.1%
平成30年度	4,945	591	12.0%	4,926	1,080	21.9%	5,057	1,672	33.1%
令和元年度	4,922	536	10.9%	5,004	1,001	20.0%	4,939	1,453	29.4%
令和2年度	4,606	587	12.7%	4,896	965	19.7%	4,981	1,457	29.3%
令和3年度	4,575	465	10.2%	4,633	794	17.1%	4,920	1,175	23.9%

イ 乳歯にむし歯がある子どもの割合（施設種類別）

施設間の差は、年少児が4.6ポイント、年中児7.1ポイント、年長児3.4ポイントとなっている。※認証保育所・未通園児等はサンプル数が少ないため参考値とする（合計は含む）。

(表7)

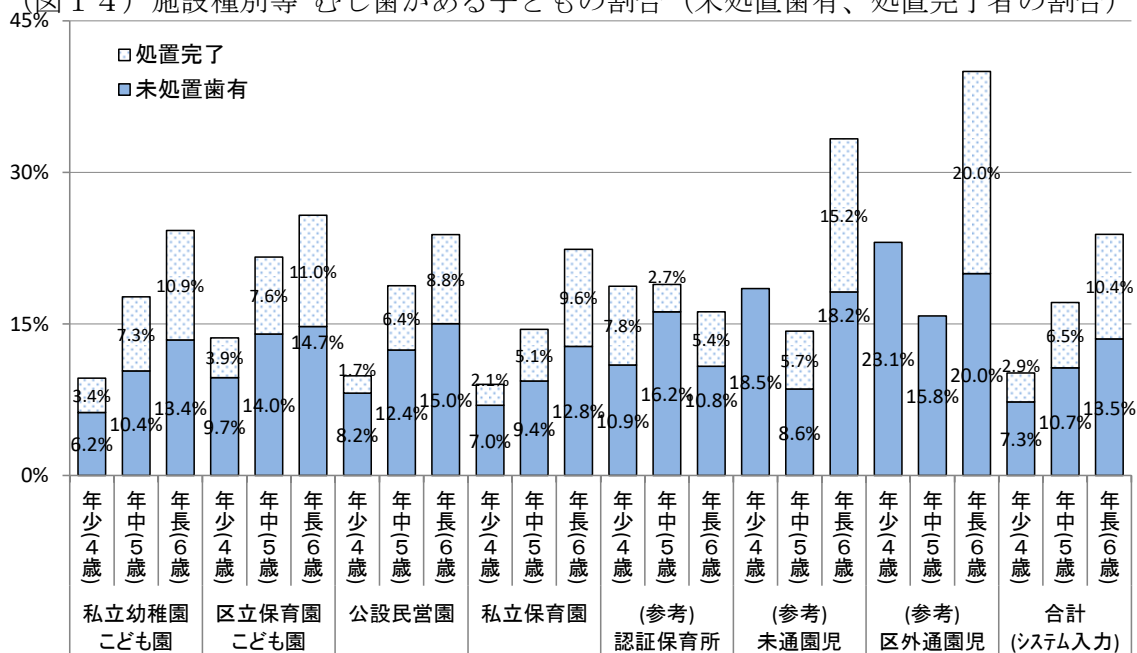
	年少児(4歳)			年中児(5歳)			年長児(6歳)		
	受診者	むし歯有	有病率 (R2年度)	受診者	むし歯有	有病率 (R2年度)	受診者	むし歯有	有病率 (R2年度)
私立幼稚園 認定こども園	1,921	185	9.6% (12.4%)	2,132	377	17.7% (20.7%)	2,341	568	24.3% (29.7%)
区立保育園 認定こども園	536	73	13.6% (15.4%)	564	122	21.6% (20.7%)	617	159	25.8% (32.2%)
公設民営保育園	294	29	9.9% (12.0%)	298	56	18.8% (19.0%)	306	73	23.9% (26.1%)
私立保育園	1,693	153	9.0% (12.0%)	1,548	224	14.5% (18.2%)	1,571	352	22.4% (27.6%)
(参考)認証保育所	64	12	18.8% (12.8%)	37	7	18.9% (16.2%)	37	6	16.2% (35.7%)
(参考)未通園児	54	10	18.5% (27.3%)	35	5	14.3% (15.2%)	33	11	33.3% (33.3%)
(参考)区外通園児	13	3	23.1% (7.7%)	19	3	15.8% (18.2%)	15	6	40.0% (7.7%)
合計 (R2年度)	4,575 (4,606)	465 (587)	10.2% (12.7%)	4,633 (4,896)	794 (965)	17.1% (19.7%)	4,920 (4,981)	1,175 (1,457)	23.9% (29.3%)

ウ むし歯がある子どもにおける未処置歯保有・処置完了の割合（年齢別・施設種別）

すべての年齢で、未処置のむし歯を有する子の割合が処置完了者を上回っている。

※認証保育所・未通園児等はサンプル数が少ないため参考値とする（合計は含む）。

（図14）施設種別等 むし歯がある子どもの割合（未処置歯有、処置完了者の割合）

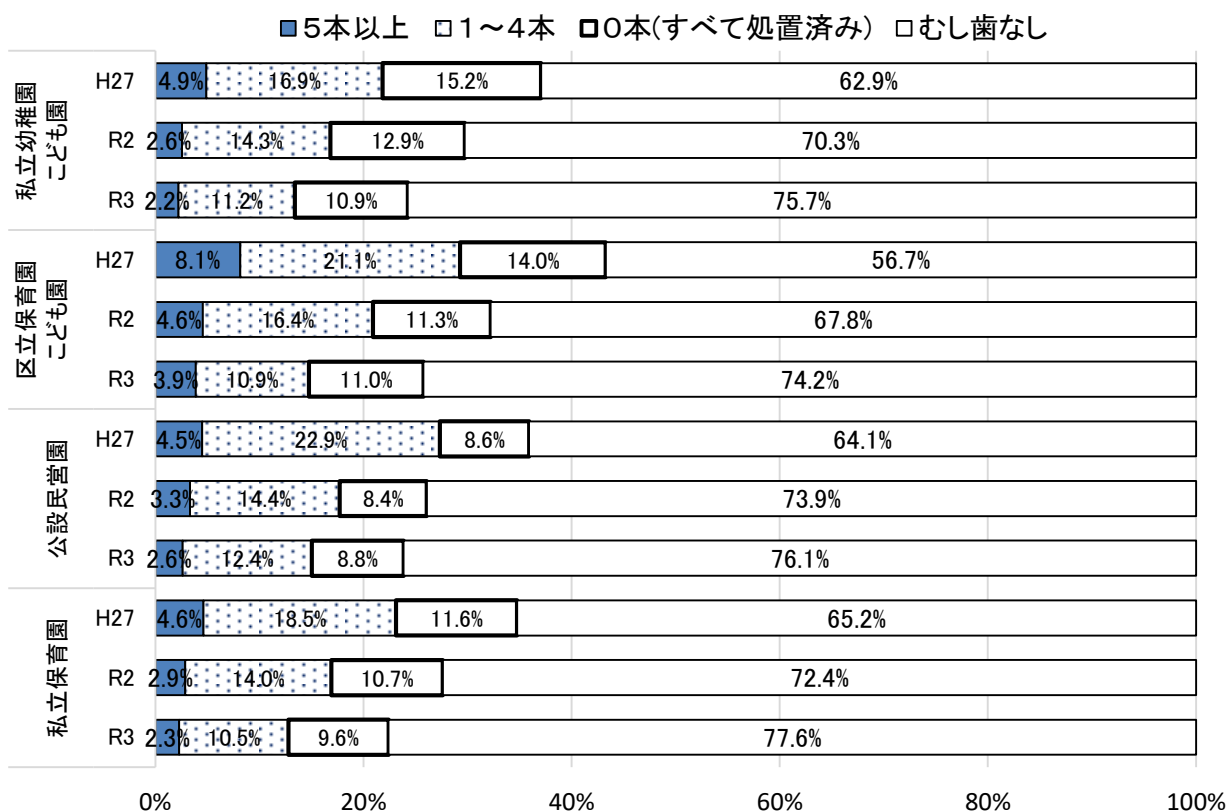


【参考】 2年度(合計)	処置完了率	年少	3.3%	年中	6.2%	年長	11.8%
	未処置歯保有率	年少	9.4%	年中	13.5%	年長	17.5%

エ 施設種別・5本以上未処置のむし歯をもつ年長児の割合

年長児で5本以上未処置のむし歯をもつ割合は、全ての施設種別で減少している。

（図15）施設種別・乳歯に5本以上未処置のむし歯がある子どもの割合(H27・R2・R3年度比)



オ 受診報告書の提出状況【施設からの集計報告による実績値】

歯科健診後に、治療・相談が必要な子ども(※1)に対し、保護者が歯科医療機関を受診した結果が、教育・保育施設より受診報告書として提出されている(※2)。

なお、未通園児等の受診報告は、保護者から区に直接ハガキで報告する方法を採用している(※3)。

令和3年度における受診報告書の提出率の平均は69.1%で、2年度と比べて0.4ポイント減少した。

※1 未処置のむし歯(C)及びむし歯になりそうな歯(CO)がある、または歯肉、歯垢、かみ合わせで治療・相談が必要な子ども。

※2 概ね歯科健診から2か月程度経過した時点での報告率。

※3 未通園児等は、サンプル数が少ないため、参考値とする(合計には含む)。

(表8)

		年少児(4歳)		年中児(5歳)		年長児(6歳)		合計(人数)		
		発行数	報告数	発行数	報告数	発行数	報告数	発行数 (R2年度)	報告数 (R2年度)	報告率 (R2年度)
私立幼稚園 認定こども園		379	236	553	334	718	462	1,650 (1,932)	1,032 (1,186)	62.5% (61.4%)
区立保育園 認定こども園		112	74	128	90	151	111	391 (493)	275 (365)	70.3% (74.0%)
公設民営保育園		52	42	69	53	97	77	218 (253)	172 (207)	78.9% (81.8%)
私立保育園		293	226	303	231	422	329	1,018 (1,117)	786 (868)	77.2% (77.7%)
認証保育所		22	16	6	5	12	10	40 (33)	31 (27)	77.5% (81.8%)
未通 園児 等	未通園児	18	11	8	5	8	7	34 (30)	23 (27)	67.6% (90.0%)
	区外通園児	4	2	4	1	4	1	12 (9)	4 (7)	33.3% (77.8%)
合計 (R2年度)		880 (986)	607 (665)	1,071 (1,290)	719 (907)	1,412 (1,591)	997 (1,115)	3,363 (3,867)	2,323 (2,687)	
報告率 (R2年度)		69.0% (67.4%)		67.1% (70.3%)		70.6% (70.1%)		69.1% (69.5%)		

2 あだちっ子歯科健診の概要

(1) 目的

「足立区糖尿病対策アクションプランー歯科口腔保健対策編ー」の一環として、むし歯が増えやすい年少児(4歳)～年長児(6歳)を対象に、(公社)東京都足立区歯科医師会、各保育施設、認定こども園、幼稚園等が連携・協調しながら、①統一基準の歯科健診、②丁寧な受診勧奨、③集計・分析・フィードバックをセットにした「あだちっ子歯科健診」を実施し、むし歯予防および早期の治療に繋がる取り組みを進めている。

【あだちっ子歯科健診のポイント】

- ① 統一基準(帳票、健診基準等)の歯科健診を実施
- ② 健診後、歯科受診が必要な子どもの保護者に丁寧な受診勧奨を実施
- ③ 歯科健診結果の集計・分析・フィードバック

(2) 対象者

通園の有無に関わらず、年少児(4歳)から年長児(6歳)、全ての幼児

※区内の保育施設、認定こども園、幼稚園においては、在籍する区外在住者も含めて実施

(3) 実施方法および今後の目標

ア 統一基準の歯科健診

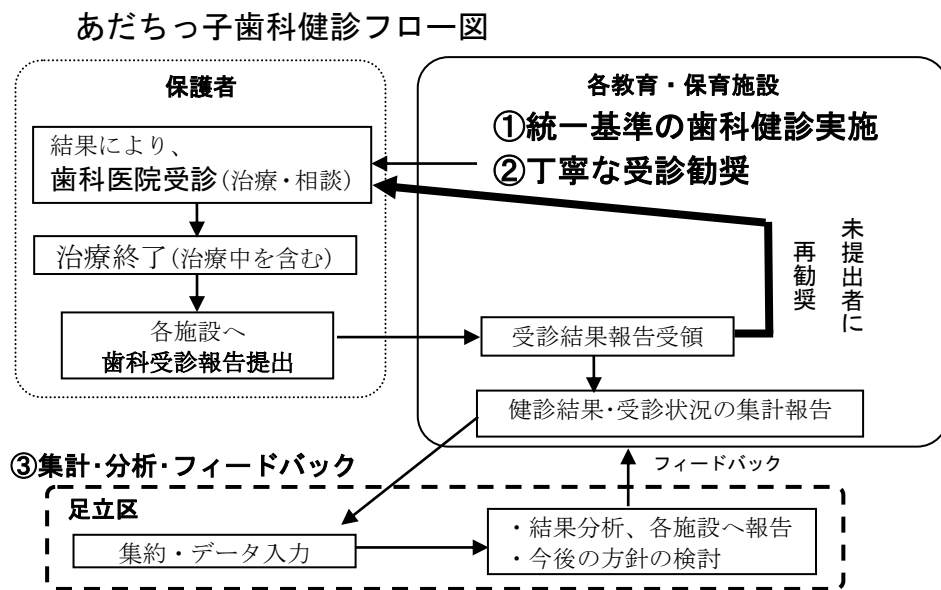
足立区歯科医師会に委託(区立認定こども園のみ嘱託医)し、施設および会員歯科診療所で歯科健診を実施する。足立区歯科医師会の協力のもと、施設内健診、会員診療所での未受診者健診等を行い、受診率向上を目指している。

イ 受診勧奨

各保育施設・認定こども園・幼稚園の協力のもと、保護者への丁寧な受診勧奨と受診報告書の確認をすることで、未治療の子どもの数を減らしていく。

ウ 結果集計・分析・フィードバックと役割分担

各施設から歯科健診結果報告を受け、区は個人情報情報の適正な管理のもと足立区保健衛生システムに登録の上、集計・分析を行う。分析結果から、園児や保護者が望ましい生活習慣を獲得できるよう、効果的な「歯・口の健康づくりの取り組み」を検討・実施する。



【問合せ先】

- あだちっ子歯科健診の実施に関すること
足立区教育委員会子ども家庭部
子ども政策課子ども施策推進担当 03-3880-5266
- あだちっ子歯科健診の結果分析に関すること
足立区衛生部データヘルス推進課
多世代健康データ連携担当 03-3880-5601



区オリジナル・奥歯のはみがきキャラクター「おくばちゃん」